

平成23年 第3回(定例)日出町議会会議録(第3日)

平成23年9月4日(日曜日)

議事日程(第3号)

平成23年9月4日 午前10時00分開議

開議の宣告

日程第1 一般質問

散会の宣告

本日の会議に付した事件

開議の宣告

日程第1 一般質問

散会の宣告

出席議員(14名)

1番	池田 淳子君	2番	藤井 博幸君
3番	工藤 健次君	4番	安部 三郎君
5番	田原 忠一君	6番	森 昭人君
8番	後藤 佑君	9番	白水 昭義君
10番	佐野 故雄君	12番	熊谷 健作君
13番	佐藤 二郎君	14番	佐藤 克幸君
15番	笠置 久夫君	16番	城 美津夫君

欠席議員(1名)

11番 佐藤 隆信君

欠 員(1名)

事務局出席職員職氏名

局長 名部 憲文君 係長 安田加津浩君

説明のため出席した者の職氏名

町長 .....	工藤 義見君	副町長 .....	堀田 義人君
教育長 .....	石尾 潤治君	会計管理者 .....	工藤都四男君
総務課長 .....	木付 尚巳君	財政課長 .....	高倉 伸介君
政策推進課長 .....	越智 好君	税務課長 .....	松木俊一郎君
住民課長 .....	酒井 保彦君	福祉対策課長 .....	合田 俊君
健康増進課長 .....	河野 王見君	生活環境課長 .....	小石 英介君
商工観光課長 .....	工藤 要一君	農林水産課長 .....	村井 栄一君
都市建設課長 .....	川西 求一君	上下水道課長 .....	小石 好孝君
農委事務局長 .....	近藤 嘉登君	教育委員会教育総務課長 ...	小野裕一郎君
教育委員会学校教育課長 ...	清家 健志君	生涯学習課長 .....	寺岡 達一君
代表監査委員 .....	阿部 長夫君	監査事務局長 .....	八坂 司君
総務課長補佐 .....	河野 晋一君	財政課長補佐 .....	脇 英訓君

午前10時02分開議

議長（城 美津夫君） 皆さん、おはようございます。引き続き御苦労に存じます。

・

開議の宣告

議長（城 美津夫君） ただいまの出席議員は14名です。定足数に達していますので、これより本日の会議を開きます。

会議の議事は、お手元に配付しております議事日程により行います。

・

日程第1 一般質問

議長（城 美津夫君） 日程第1、昨日に引き続き一般質問を行います。

2番、藤井博幸君。

議員（2番 藤井 博幸君） 2番、藤井博幸です。皆さん、おはようございます。通告に従いまして一般質問をいたします。

私は、日出町の都市計画について質問をしますが、日出陽谷高校跡地に今ケーズデンキ、亀の井ホテルが進出し建設されております。残された部分の利用予定と活用方針を伺いたいということで通告しておりますが、その前に私の意見を少し述べさせていただきます。

6月定例会において商業施設の候補があり、検討中と言われたと思います。検討中の中に陽谷駅の整備云々とあり、開発動向を見極める、整備ができて新しい顔が決まれば進出かというよう

なことを言われております。商業施設であれば、暘谷駅前や駅の移設と関連がつけられなかったのかと思います。もう既に社会資本整備計画、社会資本総合整備計画ですね、旧まちづくり交付金により都市再生整備計画としてスタートしております。設計は既にできておりまして、これから地域の方、町民の方にも意見を求めるのではないかと思います。ぜひ説明会を開いて皆さんの、町民の方の意見を聞いていただきたいと思います。

なぜかと言いますと、同じことの繰り返しになるんですが、本年度より都市再生整備計画として概要は日出町の顔、交通結節点、集い交流するふれあいの空間となる中心市街地の利便性の高い都市環境の向上を図り、快適で個性ある生活都心づくりを目指すとして暘谷駅の移設と駅前広場、自由通路等の建設が始まりました。歴史的町並みを日出町の顔、シンボル空間と説明されており、私的には顔はやはり町並みのあるところまで行かず、駅からおりてとか、10号線から暘谷城へ向かう入り口的なところに見てすぐわかるようなシンボルも欲しいと思います。

それで、ホームページを見て、この自由通路の入り口のコミュニティ施設100平米くらいだと思いますが、見ますと約費用を5千万円近くかけております。そして、見たところ隅櫓的なものかなと思うようなものができているんですが、この設計イメージにあたりまして、どのような方の御意見を聞かれたのか、ただ単に役場の方の職員の考えでこのようなパーツができたのかということもお聞きしたいとは思いますが、私的には玄関口としては的山荘の玄関のような、駅舎にはふさわしくないかもしれませんが、コミュニティ広場ということで、施設であればそのようなものがないかなという気もします。

それから、何回もなりますが設計段階に入りますと、昨年度ですが暘谷城前それから豊岡小学校の建設等では、町長は非常に優しいお方だと思うんですが、法律等に問題はないといいながら、周辺から苦言が出れば町長は民意を大事にしということで設計を変更しております。これにかかる費用が300万円以上多分かかっているはずで、1カ所につき。これは、民意を大切にという町長のお心があることでいいとは思いますが、その前にぜひ公聴会等を含めて、近隣住民の方にこういうことを事前に報告していれば、この費用が浮いたのではないかなと思う次第であります。

また、設計がこういうふうに費用がかからないと思いますし、すべて住民の意見を聞いておきますと何も事業ができなくなるかもしれませんが、ぜひ民意を大切にしていいただければと思っております。

再質問は質問席にて行います。

議長（城 美津夫君） 商工観光課長、工藤要一君。

商工観光課長（工藤 要一君） ただいまの藤井博幸議員の御質問にお答えいたします。

日出暘谷高校跡地に残された部分の利活用についてであります。日出暘谷高校跡地、それから

暘谷駅前用地及びホテル用地を含めて、全体で2万5千平米ほどの土地があります。そういったことを含めて商工観光課の立場で、今の現状報告を含めてお答えをいたしたいというふうに思います。

日出暘谷高校跡地、それから暘谷駅前用地及びホテル用地を含めて、全体で2万5,181.41平米の土地がございます。そのうちの6,648.53平米、約2,011坪につきましては、御存じのようにケースデンキが11月のオープンを目指して今建築中でございます。また、町道の暘谷駅北口線西側の町有地でございますが、これにつきましては3,339.38平米、約1,010坪ございますが、ここには亀の井ホテルがビジネスホテルを建築中でございます。来年2月に工事が終わりました3月オープン予定でございます。

それから暘谷駅前の町有地でございますが、これが2,934.98平米ございます。約887坪でございますが、ここには駅前広場1,791平米、それから駐車場として1,143平米、この用地として利用予定でございます。

それから、残された土地でございますが主にグラウンド部分の1万2,064.73平米につきましてでございますが、複合商業施設を誘致を考えております。これは、当初から申し上げておりますように、中心市街地にふさわしい民間からの事業提案募集を予定しているところでございます。既に立地に興味を持った事業所等がございます。そういった事業所等にあつては、暘谷駅周辺の整備動向が立地の判断要件になっているということから、関係各課によりますところの整備のための基本構想等の協議を受けて、現在所管課で暘谷駅周辺整備のための測量設計調査が行われているところでございます。

これは御存じだというふうに思いますが、この調査につきましては駅舎の移転検討、それから駅前広場の整備、自由通路整備の検討業務が主になっております。主にJRとの協議が必要な事項というふうになっております。また、グラウンド部分でございますが、この用地がJR日豊本線に隣接しているということから、この協議も必要と考えておりますので、こうした調査結果を踏まえ、その協議の動向を踏まえて事業提案内容の検討と募集の時期を判断してまいりたいというふうに思っております。

当然、この時期が来ましたら町民の皆様への情報公開にも努めてまいりたいというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

議長（城 美津夫君） 2番、藤井博幸君。

議員（2番 藤井 博幸君） まず、先ほどですが、通告になかった内容をホームページで調べまして言いましたので、イメージ図等の件、これは8月の31日にホームページに載せていると思うんですが、私が一般質問する前にちょっと見たことですので、即答はできないかと思うんで

すが、イメージ、先ほどもちょっと聞いたんですが、学者等のイメージを、意見を聞かれたのか、設計にあたってですね。これまだ多分本設計には入っていないと思うんで、今からであれば十分民意を反映できた表玄関にふさわしいものができるんじゃないかと思いますし、今複合施設が名乗りを上げているような感じに聞こえましたが、駅とのアクセスのよさ等を勘案してもらって歴史的町並みと複合施設のバランスが取れるかどうかというのはわかりませんが、複合施設といいますと多分近代的な建物になるんじゃないかと思いますので、昔的なかわら屋根の駅舎であれば、駅舎というかコミュニティ施設であればそう、違和感は多少あるかもしれませんが、設計段階において考慮いただけるようにしていただけないかなと思いますが、いかがでしょうか。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） ただいまの藤井博幸議員の御質問にお答えいたしたいと思いません。

通告にはない内容でありますという前置きの中でいただいた件ではありますけども、ホームページで示させていただいております駅の姿、それを議員見ていただける中で、果たしてこれが日出町の顔となるべき姿かという御意見ではなからうかと思えます。まさに、私もそのとおりではなからうかと思っております。これは、駅舎、また駅前広場につきましては、基本理念につきましてはさきの議会等でその必要性等もお伝えしたんでありますけども、詳細につきましてはあの姿と申しますのが、平成16年高校跡地の特別委員会等で参考的資料として論じられてきた姿があの当時そういう絵もかかれておったものですから、それについて掲載させていただいております。

ただ、これはもう議員がおっしゃるとおりこれから詳細な設計を加えていく中で、皆さんにいかしたら日出町の顔となるような施設ができるのか、そういったところについては本当皆さん住民の方々、それから皆さん専門家を加えまして十分検討して姿を整えていきたいと思っております。よろしいでしょうか。

議長（城 美津夫君） 2番、藤井博幸君。

議員（2番 藤井 博幸君） 将来自由通路ができるのを楽しみにしておりますので、ぜひ設計にはたくさんの意見を聞いた中から最良であるものを選んでいただきたいと思います。

続きまして、次の質問に行きます。歴史的町並みについてどこが歴史的町並みかというふうに私は質問しておりますが、町内にはたくさん整備をしたいところがあると思うんですが、この自分では近々には日出町周辺、暘谷城周辺からの山荘、致道館あたりをまず整備、この地域は暘谷城周辺景観保全地域として、私的にいうと遅いんじゃないかなと思う。21年4月から施工されていますね。もう今現在日出小学校前、もう整備が終わっているんですが、このときに近隣住民の方に塀を今の条例ではのっているんですから、その前に建設された塀とかであれば、どのよう

に対処するのかということなんですが、ぜひともせつかくあのように立派になったわけですから、日出小学校前の通路を、個人名まで言えるわけで、ずっと塀がブロックになったりいろいろしていると思うんですが、あれを昔あったような多分江戸時代くらいの塀にですね、それから致道館から奥に狭い道が、名前出していいですかね、教育長さんとこの家のほうへ行く道にも昔的な町並みがあって、あそこら辺はまだ非常に生活するにはちょっと道が狭いとは思いますが、情緒あるなと右側の方も植栽をされていいという気もするんですが、ぜひ条例ができていますので、補助金を充てていただいて家主の方をお願いできないかなというふうに。

もうまちづくり交付金事業で、暘谷城周辺の事業は終わったですね。終わってません、終わったと思うんで、またこれもちょっと加えるとあれかもしれませんけど、ぜひ一緒に検討していただいてお願いしたんですが、補助金を出してでもあそのブロック塀とかを土塀というんですか、ああいうふうな形にしていられないかなというふうに思っております。そうすると、あその町並みがまだ生きるんじゃないかということでも思いまして、それからまたもう少し言わせていただきますと　これは次の日出城周辺事業のことでちょっと言いますから、この辺までのことをお願いします。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） まず、具体的に町並みがどこでということでございます。先ほども言いました見栄えのある市街地空間といたしましては、それぞれに計画部区域を設けております。見栄えのある市街地空間といたしましては、JR暘谷駅を中心といたしまして、高校跡地を有効に取り込みながら交通の結節点としての市街地整備を進めるために、国道10号線と役場の前を走っております日出中央線に挟まれました約25ヘクタールについて現在の土地再生整備計画の中で計画エリアとしております。

それから、歴史的な町並みとしてはどうとらえているのかということですが、当然日出城址周辺これを中心といたしまして、具体的には八日市の鷹匠町付近から東のほうに日出中央区の二の丸、三の丸及び髪剃町などの若宮区、それから海岸線であります南浜、北浜の一部の約26ヘクタールをその計画の区域として上げております。

それから、歴史的なまちづくりについて今後の事業についてという御質問でありますけども、この都市再生整備事業の中で歴史的町並み、これの形成を図る上で文化財の復元事業、それから引き続き道路の美化事業等、これは同じくこの計画区域間で整備の予定を持っております。

それから、そういった歴史的町並みの地区の皆様方に対しての補助の制度についてでございます。日出城周辺整備につきましては、さっきも議員がおっしゃられましたように18年度より昨年度まで5カ年間につきましては、事業的にはまちづくり交付金事業といたしまして実施してきました。その一環といたしまして、当該地域の民間住宅におきましても歴史的な町並み景観を保全、

形成して後世に継承することを目的といたしまして、21年4月暘谷城周辺景観保全条例を定めまして、その中で区域それから民間の方々への助成制度を設けてまいりました。

主な内容でございますけども、その景観区域における既存の建築物、建物でございます。それから工作物、門扉、塀等でございます。それから広告物などの概観の変更を行う場合、所有者様から町への届け出をいただきまして、当該計画区域の区長さんを中心としました審議会等を経て、その助成の決定を行ってまいります。一例といたしまして、その内容ですけども門、先ほど申しました塀です。昔ながらの白塀等の改築にありましてはそのかかった費用の2分の1、限度額といたしましては100万円を補助しましょうという内容等になっています。こういったものを活用しながら、町全体をそういった歴史的町並みとしてそろえることが議員がおっしゃられたように肝要ではなからうかと思っておりますので、我々も地域の住民の方にそういった意向を伝えながら、できるだけこの助成制度を活用して暘谷城周辺の歴史的な町並みが完成に近づくように努力してまいりたいと思っております。

議長（城 美津夫君） 2番、藤井博幸君。

議員（2番 藤井 博幸君） 住んでいる方は民間の方でそれぞれ考え、思いがあると思いますが、ぜひこの地域に住まれている得点を生かされるべく早急にしていただかなければ、この地域の景観というものはなかなかよくはならないと思います。やはり経費もたくさんかかることですし、無理には推し進められないけど、積極的に改装していただけるのであればお願いしたいなど。せっかくこれだけの整備を行っておりますので、ぜひ相手を待つのではなく、ぜひ進めていただきたいと思えます。

それから、次の質問で暘谷城周辺の整備事業についての町民の反応はということでお伺いしておるんですが、私ことしの1月9日に町の方が開催されました講演、日出城を中心としたまちづくり、熊本大学名誉教授の北野隆氏の講演でちょっとお伺いしていると、この方は日出町の文化財アドバイザーであり、致道館等の調査をされた方とお伺いしております。その方が申しておりました、当日もちょっと私質問、嫌な質問したかと思うんですが、この方の歴史的、この方は歴史文化財なので景観等に関してはひょっとしたら日出町に対してはアドバイスはされていないかもしれませんが、北野氏の言うには昔あったものを大事にさせていただくような感じのことに私はとらえました。

現在、先ほど言いました土塀とか、あちら側には浅い溝がありました。今全部埋め立てられて一般の方は脱輪とかせずに車を止められるかもしれませんが、これは排水路としての活躍、多分地中に埋めているんだと思うんですが、浅い水路でも表面が見える。今実際こちら小学校側には水路をつくり、時々水を流していると思うんですが、この件の意見をお聞きしたいと思います。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） 今、藤井議員さんのほうから北野先生の講演等をお聞きになった中で、昔あったものを大切にということであると、その設計段階においてはどのような論議がされたかというように受けとめております。

昨年まで行ってきました日出城址の歴史的町並み、全体構想につきましては、事業着手に先立ちましてまちづくり地域ボランティア団体さんなどへ提案書の募集も行い、当時2団体より提案を受け、また並行しまして当該地域での懇談会等を何度か行う中で整備計画を立案してきて、また皆さんにお知らせするようにホームページ等で掲載を行ってきたという経緯がございます。

施設そのものにつきまして、水路の形態そういうものにつきまして賛否両論いただいてきておるわけなんですけれども、これにつきましてはまた今後長くこの状況を見守っていただく中で、当然やはり修復していかなければならないところは修復していくというような形で、また皆さんの御意見等に耳を傾けていきたいと思っております。

また、昔あったものという中で地域の皆さん方からそういった提案がなされてきたという事実につきましても御報告はしておきたいと思っております。

具体的に排水路の件についてでございますけれども、現状水が流れているわけなんですけれども、古くから地域の皆さんとの懇談をする中で、昔は豊岡団地それから上のほうの池のほうから八日市を通って日出城址に豊富な水が流されていたというような昔の状況を地域の方から聞く中で、何とかそれに見合うような形ではできないものかと、ボランティアさん、それから地域の皆さんと話した経緯があるということをお聞きしております。形状につきましては、またいろんな見方もあるかと思っておりますので、またその水路の趣旨につきましてはそういうことでございますので、形状等具体的なものにつきましてはまた今後とも検討を加えていく必要があるんじゃないかならうかと思っております。

議長（城 美津夫君） 2番、藤井博幸君。

議員（2番 藤井 博幸君） 今の水が昔流れていたと、それは多分堀に入れていたんじゃないかなと思うんですが、結構です。

続きまして、区画整理地内の街路樹（「町民の反応がいいか、悪いか聞かんでいいんか。大変評判がいいことだと。」と呼ぶ者あり）そのとおりでございます。町民のまだこれからできて1年足らずなんでまだ早計かと思いますが、今現在出ている御意見で結構ですので、あれば二、三上げてください。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） 事業といたしましては、観光拠点となります二の丸館の建設をはじめ、電線の地中化、それから裏門櫓や隅櫓の復元作業、道路の美装化等を主にやってきました。その中で具体的に代表者の方々等につきましては、現在活用していただいております商工観



光課のほうからより詳しく御説明を受けたいと思っております。

議長（城 美津夫君） 商工観光課長、工藤要一君。

商工観光課長（工藤 要一君） 特に今、都市建設課長さんから御指摘がありました暘谷城址周辺の整備事業の核であります観光交流拠点の二の丸館を取り巻く町民の反応ということでございますので、商工観光課より現状報告と合わせてお答えを申し上げたいというふうに思います。

まず、会館以来の来客者の数でございますが、平成22年の4月の28日に二の丸館が落成いたしましたして、それ以前は暘谷城址周辺を訪れておりましたお客さんにつきましては年間約4,500人程度でございました。駐車場を利用する車につきましても、自家用車、バスを合わせて約820台程度でございました。そして、二の丸館が完成いたしました以降、ことしの8月の31日、つい二、三日前でございますが、それまでの来客者数を見ますとトータルで5万3,953人が見えられております。駐車場利用台数については自家用車が1万3,806台、バスが150台、合わせて1万3,956台の駐車場利用者でございます。なお、それからお土産品の売り上げでございますが、土産品の売上金については734万9千円余りというふうになっております。目標の集客効果はあったというふうに私どもは考えているところでございます。

なお、来客者の数が5万人を超えましたのは町報等で御存じのように6月の19日でございました。福岡県から来たお客さんでございました。ただ、そういった具合で日出町を訪れる観光客も地元住民の皆さんも一息つける二の丸館ということで、観光案内所のほか、地元の特産品の販売や町内ゆっくり散策できる自転車の無料レンタル、そして軽食や喫茶が楽しめ、日によっては各種展示会等も開催されておまして、町民と来訪者が集う交流の場になっております。ふらりと立ち寄って城址周辺の歴史探訪が楽しめる日出の新名所ということで好評を得ております。

今後とも、来訪者をはじめといたしまして地元の皆様の声に耳を傾けて、周辺の皆さん方にも気を遣いながら、接客サービス向上に努めて来訪者の受け入れ、おもてなしに努力してまいりたいというふうに考えております。そういうことで、今後ともより一層の御指導、御鞭撻、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

議長（城 美津夫君） 2番、藤井博幸君。

議員（2番 藤井 博幸君） 今、町民の反応は余り聞かれなかったんですが、おおむね来館者から好評ということをお伺いしました。

先ほどもちょっと、けちをつけるつもりはございませんが5万3千人というのはかれない祭りを含めてですか、それともかれない祭りを除くということはありませんよね。

議長（城 美津夫君） 商工観光課長、工藤要一君。

商工観光課長（工藤 要一君） 当然来客者でございます。二の丸館の中に入ったお客ですから、

かれい祭りの当日も含めまして来客者の数に入っております。

以上でございます。

議長（城 美津夫君） 2番、藤井博幸君。

議員（2番 藤井 博幸君） 次の質問に行きます。区画整理地内の街路樹についてであります。私は日出町全体としては、緑がたくさん多い町だと思っておりますが、区画整理地がある程度終わってから10年ほどたっておりますが、街路樹といえるようなものが育ってないんじゃないかと思えます。この区画整理地を計画したときに、木を植えるのであれば側溝とかどういうふうになっておるのか私はわかりませんが、今現在2代目の木だと思えますが、柳が植わっていると思えます。中央公民館前の通りに。別に柳が悪いというわけではないんですが、どうしてこの木になったのかという経緯等をお聞かせ願えればと思えますし、今後樹種を変えられるのか、今213号に植わっていますヤマモモですね、ああいうのも結構、割と剪定は楽しいいのではないかなというふうな気もしますが、あそこの道路の名前に沿った木ですかね、植栽も何か考えられる気もしますがいかがでしょうか。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） 区画整理地内の街路樹について、樹種についての決定過程それから理由、今後変更はとの御質問にお答えいたします。

区画整理地内の道路において植樹が行われている通りは、町民の皆さんより命名をいただきました中央公民館前の南北を走ります鹿鳴越通り約270メートルと、それと交差しまして東西に走りますハナミズキ通り約1.2キロメートルでございます。現状の樹種はハナミズキ通りでは、中高木でありますハナミズキ及び同種のヤマボウシで、鹿鳴越通りにつきましては国道よりがヤマボウシで、陽谷については枝垂れ柳と白欒でございます。樹種の決定過程につきましては、区画整備事業中の道路建設に伴いまして担当部署内において協議検討を行ってまいりました。

選定理由といたしましては、沿道の景観、それから土地の将来利用状況、自然環境、維持管理費等を検討した中で並木形式の基本型といたしまして主に当時ハナミズキと白欒、ヤマボウシといたしました。しかしながら、鹿鳴越通りについては白欒とハナミズキについて現在国道付近を除き非常に生育が悪く、原因を調査しました結果、その地域独特の地下水の高さによるもので、根腐れ等を起こしているということがわかりまして、当時日陰が欲しいという中で沼杉を植樹し管理した経緯がございます。

区画整理事業全体が完成しましたころには沼杉が巨木となりまして、歩道舗装を害したことから一昨年より地下水にも強く、特に夏場には清涼感がございます枝垂れ柳に一部植えかえをしてまいりました。

今後につきましては、ハナミズキ通りにつきましては皆様からの名前をいただいた経緯もあり

ますので、その名前を汚さないように維持管理に努めたいと思っております。また、鹿鳴越通りにつきましては今後につきましても、土壌条件それから景観形成等、樹種の専門家の意見も踏まえた中で、現状でよいのか等検討は加えてまいりたいと思っております。

議長（城 美津夫君） 2番、藤井博幸君。

議員（2番 藤井 博幸君） 決定過程はわかりましたが、維持管理を特に注意していただかなければ、あそこをしょっちゅう通るわけですが、御存じだと思いますが道路に非常に出るんですね、柳に木ですから車に当たっても損害はないと思うんですが、見つらいんですね。横断歩道の、6月ごろに剪定はしていたと思うんですが、もうすぐに伸びてまた、枝が伸びて当然垂れ下がっているわけですから、人が横断しようと、人は横断歩道を渡るとは限りませんので、影からぱっと出てきたときにひやっとしますので、特に夜なんかは管理が大変だと思うんですが、今後とも都市建設課の担当であれば見回り等で頻繁にやらないと危険であると思われるので、よろしくをお願いします。

それから、ちょっと一般質問に、通告にはなかったんですがよろしいですか。この日出町は区画整理地内、公園が大田公園とか、大田公園の隣には近隣公園というのもありますね。近隣公園は大田公園と比べてすぐわかるのは地面がブロック石、ブロックというか都市型のセメントみたいなものでできていますね。それですぐ隣であると。建設時の目的が違ったんだと思うんですが、大田公園と近隣公園ですぐ隣にあります。それから向園公園、これも割と住民の目線からでは非常に高いところ、それから奥まったところにあります。ということで、日出町の区画整理地を見渡しますと、私は非常に全体的に先ほどの植栽の件も含めてですが、無味乾燥というんか、日出町に緑はないのかなという感じがすることです。

で、先ほどもお尋ねしたということでございます。この件は、通告していませんので、答えられる範囲で結構です。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） 区画整理地内につきましては、おっしゃられるとおり向園公園、児童公園と、近隣公園といたしまして大田公園、俗名暘谷公園ですかね、等で利用していただいているかと思えます。向園につきましては、児童公園ということでブランコとか、周りのフェンス等を行った中で利用させていただいておるんで、あそこには確かにグラウンドとして整備しておりますので、緑が少ないかと思っております。

大田公園につきましては、若干の築山があるもののまだまだ整備が行き届いていない、それからグラウンドにつきましても多少の緑はあるものでこぼこもあるという御指摘は多々あります。下の先ほどタイルですか、タイル張りのところというのが子供さんが遊ばれる単体の遊具等を置いておるかと思うんですけども、そういったところに積極的に議員さんのほうが緑を活用したら

どうかという御指摘ではなからうかと思っております。

道路の植樹も含めまして、やはり区画整理地内、それから暁谷駅となるところは日出町のまさに顔ではなからうかと思っておりますので、緑を含めまして町並みを整備するよう努力していきたいと思っております。

議長（城 美津夫君） 2番、藤井議員、一般質問については通告制になっているので通告以外のものは答弁できないんで、その辺のそこを慎重に考えていただきたいと思います。2番、藤井博幸君。

議員（2番 藤井 博幸君） では、これで終わります。

.....  
議長（城 美津夫君） 1番、池田淳子君。

議員（1番 池田 淳子君） 1番、池田淳子です。通告に従いまして一般質問を行います。

まず、豊岡小学校の放課後児童クラブについてお尋ねいたします。現在豊岡小学校区だけ放課後児童クラブない状況です。先般、藤原小学校に念願の放課後児童クラブが設立されました。これは熱意ある保護者の働きかけによって実現したものです。同じ日出町の中でできている校区とできていない校区があるのは決してよくないと思います。親御さんが安心して働けるよう、また子供たちが安全で安心して健やかに育つよう、かねてより要望があったかとは思いますが、早急に豊岡小学校区にも放課後児童クラブを設立してほしいと思っておりますが、見解を伺います。

再質問は質問席にて行います。

議長（城 美津夫君） 福祉対策課長、合田俊君。

福祉対策課長（合田 俊君） 池田淳子議員の豊岡小学校に児童クラブの御質問にお答えいたします。

はじめに、ことしの夏休みから藤原小学校内に藤原放課後児童クラブを開設いたしました。保護者や地域の方々の手により運営をしていただいております。まだまだ手探りの状態ではありますが、藤原小学校の保護者からの要望にお答えすることができました。多くの関係者の方々の御協力に感謝を申し上げます。

さて、日曜日や祝日を除く月曜から土曜まで毎日午後6時まで安心安全に過ごせる放課後児童クラブはひとり親家庭や両親がともに働いている家庭の小学生低学年には必要な施設と考えています。現在は、御指摘のとおり豊岡小学校区のみ放課後児童クラブはございません。日出町としても平成22年3月に策定した日出町次世代育成支援後期構造計画の中の目標数値で放課後児童クラブを平成21年度の3カ所から平成26年度までに5カ所と目標を掲げています。この目標を達成するためにも、藤原に続き豊岡小学校区も放課後児童クラブを設置したいと考えています。

具体的には、来年度平成24年度には豊岡小学校の余裕教室を放課後児童クラブの専用室に改

修したいと考えています。運営については、藤原小学校と同様に保護者を中心とした地域の方々で運営委員会を組織していただき、運営をお願いしたいと考えています。豊岡小学校区の児童クラブとして地域の方々の御協力をいただきながら、特色のある放課後クラブにしていきたいと思いますと考えています。今後、できるだけ早く実現できるように関係者への御説明と御協力をお願いし、平成24年度中の開設へ向けて努力したいと考えています。

以上でございます。

議長（城 美津夫君） 1番、池田淳子君。

議員（1番 池田 淳子君） 平成24年度中の開設ということなんですが、今豊岡地区公民館でボランティアの方たちによって、放課後児童クラブではないですが、そういった形のものをやっていたかとは思いますが。

ハード面、設備が整ってからとかではなくて、今の時点で運営ができる方法が見つかれば、今藤原小学校と同じようにやられるということでしたけども、早急に運営される方々の名乗りを上げていただいて、もし前倒しで運営だけでもできるのであれば、場所はその豊岡地区公民館でということではできませんか。

議長（城 美津夫君） 福祉対策課長、合田俊君。

福祉対策課長（合田 俊君） 今御質問がありましたように、今現在豊岡の公民館のほうで放課後子供教室といいますが、ボランティアの方々が放課後4時か、5時くらいの時間に今、すべての子供といいますが、だれでもいいわけですけども、対象に実施しております。ただし児童クラブについては、これは一応働いている方とか、ひとり親とかそういうふうにして放課後家庭にだれもない児童を対象にしてまずします。それと、この児童クラブについては基本的には専用の部屋を持って運用しないといけないというふうになっておりますので、公民館の場合だれでも使えるような部屋で運営するということはちょっと児童クラブを運営するとしてはちょっとできないなと考えております。

議長（城 美津夫君） 1番、池田淳子君。

議員（1番 池田 淳子君） 藤原小学校と同じ運営方法ということですが、例えば万が一ですけども、名乗りを上げる保護者の方がいなかったりとか、地域の方、今はボランティアでやっていたので、協力が得られないということはまず考えられませんが、もし同じ運営方法ができなかった場合のほかの案というのはございますでしょうか。

議長（城 美津夫君） 福祉対策課長、合田俊君。

福祉対策課長（合田 俊君） 県下、大分県下で約児童クラブが、去年のこれ資料なんですけど227児童クラブがあります。一応その運営方法につきましては、運営委員会方式、それから保護者ですね、PTAだけやる方式、それから社会福祉法人、それから社会福祉協議会、それから

NPO法人、それから有限会社とか学校法人とか、そのあとは直営という方法もあります。いろいろありますが、ほとんどが運営委員会と同じような方式でやられている状況でございます。基本的には、今考えているのは保護者それからPTA、地域の団体と今後十分に話して、ぜひそういう藤原と同じような運営委員会でやっていただけないかなと考えています。

議長（城 美津夫君） 1番、池田淳子君。

議員（1番 池田 淳子君） 昔はおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に住んで三世代家族でにぎやかに過ごしました。近所の方も、近所のおじちゃん、おばちゃんたちにしかられながら私たちも育ちましたので、ですけども今は核家族化が進む中、なかなかそういう親に見てもらおうとかおじいちゃん、おばあちゃんに見てもらえない、こういった行政に頼るしかないわけですので、本当に早めに、早急にというのが私の要望でございます。ぜひともよろしく願います。

では、次の質問に移らせていただきます。被災者支援システムについてであります。6月議会におきましても、震災に対する防災意識の向上、また避難所になる施設の防災機能の充実などを訴えたところですが、今回もそれに関連してお聞きをいたします。

1995年1月に発生した阪神・淡路大震災の経験を生かして開発されたのが被災者支援システムであります。このシステムは災害発生時、住民基本台帳のデータをベースに被災者台帳を作成し、被災状況を入力することで罹災証明書の発行、支援金などの交付、救援物資の監視などが一元的に管理できるシステムです。震災の混乱の中で、いち早く迅速な被災者支援の提供に威力を発揮すると言われております。また、私が感心したのはこのシステムを開発したのが震災当時西宮市の情報システム課課長補佐だった一職員であるということです。庁舎も職員も大きなダメージを負った中においても、日常業務も復旧と合わせて被災者支援もしなければならないという大変な状況だったようです。

しかし、被災者支援は待ったなしです。被災者で庁舎周辺に長蛇の列がつくれ、余りにも長い待ち時間に苛立ち怒りが浴びせられる始末だったそうです。いつどこで起こるかわからないこの震災に備えて、日出町でもこのシステムを導入する計画はないでしょうか。

議長（城 美津夫君） 総務課長、木付尚巳君。

総務課長（木付 尚巳君） 池田議員の御質問にお答えいたします。

池田議員の御指摘のとおりこの被災者支援システムは、地震や台風などの災害発生時における地方公共団体の業務、総体的に支援できるシステムをなっております。阪神・淡路大震災の直後に、議員おっしゃるとおり救援や復旧復興に携わる兵庫県西宮市の職員によって開発されたものであります。

被災者台帳の作成や罹災証明書の発行、義援金、支援金の交付、緊急物資や仮設住宅の入退去などの管理といった従来の機能に比べまして、昨年には被災状況の集計、分析等を可能にするウ

ウェブGIS連携による支給復興関連システムを基本追加するバージョンアップを行い、地方公共団体の震災業務をトータル的に支援できるシステムとして進化をしております。西宮市では当時同システムの、このシステムの導入によりまして当時手作業で7時間くらいかかっておりました罹災証明書の発行が1時間ほどに短縮されるといった効果が出ていたと聞いております。

現在財団法人地方自治情報センターによって、全国の地方公共団体に無償で公開適用されております。災害が起きる前の平素から導入し、整備しておくことで被災時に必要な業務が迅速かつ効果的に実施可能であるとともに、ソフトは無償で提供されることとなっておりますので、今後このシステムについて詳しく調査し、検証を重ねた上で住基ネットの担当課であります住民課、それから電算の担当課であります財政課が、要支援者の担当課であります福祉対策課等関係課と十分協議をいたしまして、導入について前向きに検討していきたいと考えておる次第であります。

以上でございます。

議長（城 美津夫君） 1番、池田淳子君。

議員（1番 池田 淳子君） よく調べていただいてありがとうございました。まさにそうなんです。西宮市の担当課の一職員が被災者の支援事業に情報システムが欠かせないと、すぐに立ち上がってこういうシステムの開発が進んだわけです。2009年1月に全国の地方公共団体に配布されているということをお聞きしているんですが、日出町にも届いたんでしょうか。

議長（城 美津夫君） 総務課長、木付尚巳君。

総務課長（木付 尚巳君） ちょっと確認をしておりませんので、後ほど確認させていただきたいと思います。

議長（城 美津夫君） 1番、池田淳子君。

議員（1番 池田 淳子君） 今おっしゃいました確かにこのCDROMは無料なんですね。無償ですし、高度なIT技術もなくとも普通の職員の方でも十分対応ができる。まさに既存のパソコンでも十分に対応ができることになっています。導入費用がCDROMは無償なんですが、導入にかかる接続ですとか、そういったことには数十万かかるようですけども、運用コストはゼロだということで、今回補正予算に上がっています基幹系システムの導入ですね、1千万ちょっとで予算が上がっていますが、このシステムを導入する、その基幹システムを導入することによってこの被災者支援システムが役に立ちますか。それで合理的にできますでしょうか。

議長（城 美津夫君） 総務課長、木付尚巳君。

総務課長（木付 尚巳君） 今、先ほどの御質問の今回の基幹系システムの見直しと関連して、今合理的にできるかということですが、基本的には全く別物であると考えております。

今回のこのソフト導入につきましては、住民基本台帳データとリンクさせる必要があると聞いておりますし、サーバーを別個に構築する必要があるのではないかと考えております。それらの

経費が数十万、50万以内では可能ではないかと考えております。というところでございます。

議長（城 美津夫君） 1番、池田淳子君。

議員（1番 池田 淳子君） 別物だと。あと一緒に使えればなと私思ったんですけど、別物だということでしたら、またサーバーはその50万以内くらいでできますか。もし、そのサーバーは別ですかね。

議長（城 美津夫君） 総務課長、木付尚巳君。

総務課長（木付 尚巳君） 今のところ見通しではこのシステム専用のサーバーを1個設ける必要があるのではないかと考えております。

これも、ちょっと専門業者と今後相談していきたいと思っております。（「財政課長、答えよ。トップスはあるとこやないか。」と呼ぶ者あり）

議長（城 美津夫君） 財政課長、高倉伸介君。

財政課長（高倉 伸介君） トップス21の住民記録台帳、今現在使っております。それと新しくするのも同じくトップス21のイージーモデルということで、それが今のと新しい、今のもリンクできますし、新しいのもリンクできるということで、基本的にはどちらでもリンクするのは一緒だということで、そのトップスをかえることによって、リンクが新しくなるとか古くなるとかというような考え方ではございません。同じ住民記録台帳がありますので、どちらでもこのシステムは対応できると考えております。

議長（城 美津夫君） 1番、池田淳子君。

議員（1番 池田 淳子君） ありがとうございます。本当に震災に関することはもう待たなして、前回質問させていただいた避難施設の機能充実の分に関しても今回補正をつけていただきまして、ブルーシートですとか、発電機ですとか即座に対応していただいたことに本当に感謝を申し上げます。ですので、今回もこの件につきましても前向きにというふうに御回答をいただきましたので、ぜひとも早急に取り組んでいただきたいと思います。最後に町長の御見解をお伺いいたします。

議長（城 美津夫君） 町長、工藤義見君。

町長（工藤 義見君） 今の被災者の支援システム、先ほど見ますと全国で従前には220くらいの導入があったということですが、330、40と、約5割くらい震災後ふえていると、非常に私は有効な一つの方式ではないかと思えます。したがって、先ほど答えましたように、できるだけ実現に向けて努力させていただきたいと思う。私も、十分協議を受けておりまして、了解しておりますので御了解いただきたいと思います。

議長（城 美津夫君） 1番、池田淳子君。

議員（1番 池田 淳子君） 公明党が全国的に推し進めている施策でございますので、ぜひと



もせっかくいただいた義援金が手元に届かないとか、そういうことがないようにしっかり前向きに早急に取り組んでいただきたいと思います。

これで一般質問を終わります。（「わかりましたとか、何とか答弁せんかい、あんだ。失礼やないかい」と呼ぶ者あり）

.....  
議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） 熊谷でございます。一般質問に入る前に一言申し上げさせていたただきたいと思っております。

今回、こうして土日に議会を開催するようになりましたのも議会改革の一環として特に城議長の肝いりで行いましたが、傍聴の方は逆に平日よりも少ないという感じではございますけども、こういった改革は行うことがまず肝心ですし、やってみなきゃ何もわかりませんので、私は一応の目的は果たされたと思っております。

しかしながら、肝心の今までの一般質問の中身につきましては、理想の形とは甚だ私はかけ離れていると思っております。ここで私も何回かそういうことを申し上げましたが、結局議員側の質問の提案と答弁側が余りかみ合っていない、言いつばなし、聞きつばなしがずっと続いていると思います。やはり、我々も真剣に勉強して町民が今大変なこと、問題になっていることを質問しているんですから、執行部はやはりそれを真剣にお聞きいただいて、そして適切に対処していただきたいと思いますというふうに常に思っております。

近いところでは私は前回条例改正を提案しましたが、その後何ら検討されているような節はございませんでした。この前委員会でお聞きしましたけど。それから、その前は工藤議員が本当にいい質問していただいて、当時の総務課長が今年度中にやると申し上げましたが、いまだにそういう気配は感じられません。

そういったふうにこの場限りの答弁ではなく、やれることはやるとできないことはできないとはっきり言っていただきたい。そしてまた、私たちが指摘することが間違いだったら間違いだとはっきり言ってもらったほうが私たちは助かると思います。そして、私たちはそれがそういうお答えであれば、次回それをまた研究し直して、問題点を洗い直してここでまた再度お聞きすると、そういうことを私たちがしてこなかったことも問題だと思っております。そういった意味できょうは、きのうからきょうにかけて町長も前向きな答弁をされていますけども、ここだけの話ではならなくて、後にできないできなかったというその検討した結果も報告していただければと思っております。

そういったふうに、とにかくこの2日間かなりの費用もかかっております。一緒の真剣にお互い議論し合いまして深まっていければと思っておりますので、どうかその辺はよろしく願いたい

たします。よろしいでしょうか、町長。

それでは、まず1点目の電算関係の委託料についてお聞きします。きのうの議案質疑で、今度の補正予算に上がっておりましたので、ちょうど何というかタイミングがよかったというんですか、私が以前から予算委員会等でかなり質問してきました電算関係の委託料、特に保守点検料ですね、それをどうにかならないのでしょうかということをお願いしてきたんですが、今回やはり執行部側も担当課もそういう時期だということで、またたまたまオルゴですか、OECのほうからそういう提案もあったということで、8市町村でいわゆるクラウドだということだと思っておりますが、それを導入すると。そういうことで、私はかなりいいタイミングで質問をしたのかな、それで研究、担当課もしているんでしょうけど、実際問題これを導入することによって幾らくらいの予算が抑えられるのか、それをまず1点お聞きしてあとまたお聞きします。

議長（城 美津夫君） 町長、工藤義見君。

町長（工藤 義見君） まず、冒頭これまでの議会におけるいろんな議論・提案等についてお言葉ありました熊谷議員の御意見等の中で、私も一言申し上げさせていただきたいと思います。

当然のことながら、私たち執行部は議員の皆さん方の御提案いただいたいろんな問題については十分実行していく責務を持っております。したがって、私は必ずこの議会等がありましたら議事録は必ず読ませていただいております。どういう約束あるいは課題を持って臨んだと、あるいはまたどういう答弁をしたということについては十分今後とも考えて、皆さん方の御提案、あるいは私どもが答弁したことが必ず実現するように今後とも努力させていただきたいと思います。いろいろと課題があればどうぞその都度御指摘いただいて、今後とも町政の発展のために私も努力させていただこうと思います。どうぞよろしく願いいたします。

議長（城 美津夫君） 財政課長、高倉伸介君。

財政課長（高倉 伸介君） 熊谷健作議員の御質問にお答えいたします。

共同利用で対象5年間で単独導入と比較いたしました場合、共同利用した場合8,945万、単独導入した場合1億313万4千円でございます。削減見込みは1,368万4千円で、削減率が13.3%になります。

以上でございます。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） わかりました。その場合、クラウドということなんですけども、同じこれメーカーを継続するということですね、日出町の場合は。ほかの7市町村も結局オルゴだったということで理解しているんですが、これ問題点があるとするとやっぱり提供側のネットワーク障害、これリソナがこの前そういうような合併した同士でシステムが違っているからああいうことになったんだと思うんですけど、そういう問題点とか、またあるいはサービスの停止、

そういったものが懸念されます。それとあとは自治体ごとにこれカスタマイズというんですかね、独自仕様をしている場合がなかなかそれが汎用ができないんじゃないかと、そういう懸念がありますが、その辺については御心配はされていますか。

議長（城 美津夫君） 財政課長、高倉伸介君。

財政課長（高倉 伸介君） 熊谷議員さんのおっしゃるとおりでございます。カスタマイズといってそれぞれの市町村によっていろんなやり方があります。そのやり方に合わせた電算仕様をつくっておりますが、今回これを導入するにあたりまして、各事業ごとに見直しを行いまして、この8市町村なるべくカスタマイズが出らないように同じような事業をしていこうという研究を今やっております。

で、それぞれの担当者を集めて、固定資産税なら固定資産税、住民税なら住民税と細かなところを合わせていって、なるべくカスタマイズがなくて、割り勘勘定が多くなるように検討しているところでございます。

以上でございます。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） この件に関しましては、先ほど1,300万の経費削減につながる。何かきのうちちょっとお聞きしたら、ちょうど日出町は入れかえの時期だったということなんですかね、システムの。それで、ちょうど初期費用がその分抑えられるということで、私は大変いいことだと思うんですが、その次に日出町もそろそろこれだけのIT関連の予算が出ています。それで今池田議員の質問にあったように、またそういったいろんなシステムを活用していく時代になったんですから、そろそろもう日出町もそういうプログラムに精通した有資格者、国家資格、民間資格、ベンダー資格と3ついろいろあるようですが、そういった資格を持った方を職員として採用していくことを検討する時期にはないんでしょうか。その辺をちょっと全然考えてないんでしょうか。今、割とお聞きしますとSE、システムエンジニアですか、それが不況でああいうソフト会社も結構受注が減っていると、そういった方もかなり今余ってきているんじゃないかという話を聞いております。

そういった意味で、そういった方を獲得してかなり保守点検を自前でもできると、簡単な作業ができると、そういった形のほうが望ましいんじゃないかと思うんですけど、その辺はどうでしょうか。

議長（城 美津夫君） 財政課長、高倉伸介君。

財政課長（高倉 伸介君） プログラムに精通している有資格者を職員として採用していくことということでございますが、現在本町では財政課情報推進係、情報処理技術者の資格を持つ非常勤の職員を1名採用しております。電算システムの導入の際のハード面、ネットワーク構築の

支援など、資格を生かした業務にあたってもらっています。

しかしながら、複雑多岐にわたる行政システムのプログラムの変更やシステムの動作のトラブル等の対応にはそれぞれ戸籍とか、税務、国保、介護、事務記録など、それぞれのプログラムに精通した複数の技術者が必要となっており、町独自で技術者を採用していくには大変なコストと時間がかかるんじゃないかなろうかと思っております。

また、他市の状況も聞いてみたんですが、現在電算会社から職員をシステムエンジニアでございいますが、派遣してもらって常駐させているところもございいます。しかし、それも複雑な変更やトラブルには対応できていなくて、やっぱりプログラムの開発会社の専門家社員に頼っている状況で、それに対してもやっぱり結構多くの財政負担となっているようでございいます。

以上でございます。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） 検討は難しいというお答えだったんでそれはそれでいいんですが、しかし委託料の中私も見たんなんですが、去年ホームページのリニューアルを200何十万かけてしていますよね。これホームページがどれくらいの頻度でやり変えているのかわかりませんが、そういったことももう外注じゃなくて自前できるんじゃないかなと私たちは思うんですよ。そう難しい作業じゃないと思いますので、そういったやっぱりある程度のことを理解できる職員が今いらっしゃる方がどの程度の能力持たれているのか私存じませんが、そういった職員がやっぱりいるとしないのとではちょっと私は違うんじゃないかなと思うんですよ。

ですから、すぐにとじゃなくてこれ採用するといっても毎年もことでもなくて何年かに1回雇っていただいて、その人が中途入社でもいいと思うんですよね、役場に入るのも。そういった意味で、やっぱりある程度能力がある方を何もかもその人にできるわけが当然ないので、一人二人いらっしゃるると随分対応が違うんじゃないかと思うんですけど、どうでしょうか。

議長（城 美津夫君） 町長、工藤義見君。

町長（工藤 義見君） おっしゃるとおりで、多くの職員の資質向上が私は大変重要だと思います。日出町でパワーウェーブという団体がございいますけども、ここでは非常に高度な技術を町民の皆さん方に指導したり助言したりして、その情報技術の進行に貢献、寄与していただいております。

で、私も町の職員がまだワードだとか、あるいはいろんな業務運営の中でパソコン等の技術が私はまだ職員については低いと、そういうふうに思っております。非常に単純な表とか図とかをつくるというようなことになっておりますけど、やっぱりそういうところから始めて、もう少し資質アップといいますか、技術的な力量を大きく伸ばしていかないといけないとそういうふうに思っておりますので、この件についてはその他の中で研修計画、体験の中で大いに努力していかな

いといけないと考えております。

そういう意味で、基礎的な知識を深めていく中で、もう少し高度な技術を、本当はパソコン等の以外に今こういうソフトの技術を持った人たちを登用したいんでありますが、今公開して試験やっていますから、そういうことからいうとある程度、今後そういう技術を持った人を、資格を持った人の採用を若干点をふやして、できるだけ採用されやすいような方向をとる必要があるのかなというふうにも思っております。大変それは町全体としては非常に貴重な御意見でございますので、積極的に中で検討させていただきたいと思っております。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） 検討していただくということで、本当に検討していただけるものと思っております。私も監査を今させていただいているんですが、本当に委託料の関係が多いですね。ですから、今までの慣例とかにとられることなく、各課においてもやはり委託料は、これはもう自分のところでできるかできないかを判断していただいて、何でもかんでも外注ということはもうそろそろおやめいただいたほうがいいんじゃないかと思っておりますので、その点も含めてまた御考慮をお願いできればと思っております。

では、次の質問に参りたいと思っております。先ほど藤井議員も触れられましたが、暘谷駅の自由通路の件でございます。そもそもこの自由通路を建設するという事を町民の方が果たしてどれくらい知っていらっしゃるんだろうかというのが今回の趣旨でございまして、ちなみに私は賛成でも反対でもなく、素朴にきょうは町民の方が傍聴多くいらっしゃると思いましたので、町民の代表としてお聞きしようと思っております。

冒頭にちょっと一言言わせてもらいますが、担当委員会のときに1回も説明がありませんでした、これは。もうこの前も言いましたけども。その点がまず不可解なことと、先ほど藤井議員が言われましたようにホームページに出ているんですね、8月31日付で。きのう言われて私も見ました。

それで、これはどういうことかなと。きのう、ほかの先輩議員にも私申し上げたんですが、余りこんな言葉は使いたくないんですが、やっぱ議会軽視ですね、これ。これだけの絵があって、今まで1回も説明ないんですね、私たちに。立派な設計図ができていますよね、これ。見取り図みたいなのが。俯瞰図が。これは町長どういうことですかね。ホームページを私たち見て、それから質問しろとか、考えるということなんですか。説明が先じゃないですかね、議会への。どうですか。

議長（城 美津夫君） 町長、工藤義見君。

町長（工藤 義見君） ただいまの御質問にお答え申し上げたいと思います。

これは、暘谷駅周辺、特に周辺市街地の高校跡地周辺の整備でございますが、高校が大神の駅

前に移転したのは平成8年から9年にかけてだったですか。その間百人委員会であったですね、随分いろんな過程を経まして、そして土地区画整備事業が終わったのが平成16年でございます、そして16年のときにも相当これまでの期間に研究調査をされておりました、むしろ私が町長になった16年の9月には、むしろそういう計画をかなり大きく変更して1種住宅地域から都市計画区域に変更するというようなお願いをして今日にきておりますが、その中で変更したのは高校跡地周辺でありまして、駅周辺の整備については従前からもう既に固まっております、恐らく17年の前半には県の都市計画基金審議会において、こういう計画がもう既に提出する予定になっておいた案件でございます。これは、その後以降全然変わっておりませんで、そしてまた6月の議会に森議員も御質問があったその件を受けての質問でございました。

したがって、私はこの構想図というものはもう日出町の中においては10年以上にわたって存在しておるとこういうことであります。具体的にこういうふうに決めていこうとかいうんではございませんで、あくまでまだ構想図であります。ただ、私のはっきり平成20年の4月以降、高校跡地の一発入札といいますか、全体を公開公募した経過があります。リーマンショックがございまして、4月から公募いたしましたけどもリーマンショックの結果、8月25日の、平成20年であります、応募を締め切りましたところ、1件の応募なかったわけであります。もう既に公開公募してなかったという案件でございますから、いろんな今突然にホームページに出たというふうに、ちょっと私はホームページまだ見てない、恐縮なんではあります、そういう構想図そのものはもう既に前町長に時代から存在していたということを申し上げ。

ただ、今議員が言われるように多くの町民の皆さんが十分熟知周知されてないという点については私も大変責任を感じますが、この計画は今にこうして私がどうこうしたというんじゃない、従前から町政の中で引き継いできた案件であるということはぜひ御理解をいただきたいと思えます。

突然私どもが、これはもう前にあるものを出したんだと、具体的にちょっと私はどういうものが出たかというのはちょっと大変恐縮であります、そういうことを申し上げたいと思えます。これからまだまだ具体的には基本構想、特に高校跡地と駅舎周辺についてはこれから会社に先に8月に入札をして、これから構想を練ると、そして提案等々の具体的協議を重ねていくと、こういう段階でございますので、そういう点についてもまず御理解をいただきたいと考え、以上でございます。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） 従前からあったとおっしゃるんですが、私は見たことないですよ、全然。ほかの議員もきのう聞いたけど、皆さん知らないということだったんで、担当委員会の方は御存じなんかもしれないですけどね。ですから、これはちょっと町長認識が違うんじゃない

いかと。その点いいです。

まず最初に建設予算と総額、その自由通路のですね、その財源。きのうホームページや何か、全部の全体予算として7億くらい上がってましたけども、そのうちどれくらいこの自由通路にかかるのか、お聞かせください。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） 建設予算とその財源であります。現計画では駅周辺整備全体で約5億7千万円、自由通路に関する事業費につきましては設計等も含めまして約2億4千万円を見込んでいます。財源につきましては、国土交通省の交付金により約50%の国費交付金を受け、残額の90%につきましては起債の適用を受ける予定です。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） 今言われたようにもう、この前2億くらいとお聞きしていたんですけど、やっぱり2億4千万と、これ多額な費用ですね。これは、肅々となんか進んでおるようにはありますが、やはり町民の方が御存じないというのは、これちょっとびっくりすることだと思えますよ。2億4千万ですからね。一大事業だと思えますよ、今日出町にとっては。その財源についても半分が国の補助と、これはあれですか、まち交ですか。また例の交付金だと思えますが、残りは起債といってもこれはやっぱり町の負担ですね。これについては、あとで何か交付金措置か何かあるんですか、起債については。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） 事業といたしましては都市再生整備まちづくり交付金と若干制度が変わりまして、都市再生整備事業ということになりますけども、後年の起債の分について交付金の返りがあるかという御質問なんです。この点につきましては若干公共事業の予算関係のほうに御説明をいただきたいと思えます。

議長（城 美津夫君） 財政課長、高倉伸介君。

財政課長（高倉 伸介君） 交付税措置でございますが、所管75%を交付税の基準財政事業の中に含むようになっております。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） 75%ということですので、あと町負担がどのくらいなのかちょっと計算しないと私もわからないんですが、大体どれくらいかわかれば後でお答え願いたいと思えます。計算していただいて。

次に、今後のスケジュール、きのう、おとといですか、委員長報告で何か設計業者は決まったというようなことをお聞きしたんですが、どういう今スケジュールになっているのかをお聞かせください。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） 今後のスケジュールでございますけども、この事業全体の事業期間につきましては今年度から平成27年度までの5カ年を計画しております。今年度は特に予算のほうでいただきました基本設計等を重視、重点的に行う中で先ほどの駅舎のあり方、姿等について今年度詰めていきたいと思っております。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） その設計というのは、業者が決まったというのは何の業者が決まったんですか。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） 暘谷駅の駅舎の移転に伴います駅舎それから自由通路、それから南北の駅前広場についての基本設計を行う業者を選定いたしました。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） 基本設計ということは、じゃあ実施設計に入る前の大まかな設計ということでとらえていいんですか。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） はい、そうです。骨格でございます。駅前広場の面積がこれでいいのか等、それから自由通路の構造的には基本構造としては幅が幾らがいいのかとか、そういったものになるかと思えます。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） 肝心のその建設はいつになるんですか、自由通路は。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） 建設につきましてはまだまだこの基本計画をもとに本年JRとのそういった実施協議等が加わっていく中で、来年度につきましてはこの基本計画に基づいてJRと協議をした中の実施設計に移っていきたいと思っております。

ですから、一番の期間を要するのがJR九州さんとの具体的な詳細な協議、これが大きく建設……。

議員（12番 熊谷 健作君） 具体的に何年というのが。

都市建設課長（川西 求一君） 現在の計画では24年に実施設計を行いまして、25年に工事の着手については行っていきたいと思っております。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） 25年に工事を始めるということですね。

その次に1日の予想利用者数、これを私ここで障がい者、健常者と分けて書いたんですが、分



けて予想しているのかどうかわかりませんが、その辺を説明してください。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） 予想といたしましては、現在その詳細調査の中で行っておりますけども、実績といたしましては平成22年度の1日あたりの平均乗降客数は1,646人でございます。

また、この利用者別につきましては、現在具体的に調査を行っているところでございまして、今年度末にはそういった利用者別につきましても、利用形態別につきましても数字のほうを発表できるかと思っております。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） まだその辺は固まってないということですね。1,600人がそれを使うというということではないとは思いますが。当然。この位置は大体どの辺になるんですか。今の踏切からどれくらい上るんですかね。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） 位置につきましては、正式な現在の踏切から、交差点から何メートルというところの資料がございませんけども、これから（「大体」と呼ぶ者あり）大体五、六十メートル程度だと思っております。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） 五、六十メートルということですね、わかりました。

これ、車いすの方が当然利用されるということをつくられると思うんですが、そのアクセスですね、乗用車で来ると考えられているのか、車いすでそのまま来られると考えているのか、その場合の駐車場あるいは歩道のバリアフリー等の整備の計画はございますか。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） 現計画では南北の駅前広場を利用して車で見えられた方々につきましては、その駅前広場を利用して乗降してもらうよう計画しております。これにつきましては、高齢者の方々、小さな子供を持たれたお母さん等、すべての方に対する施設を考慮していきたいと思っております。

そのためには、利用する方々、具体的に利用する方々の視点というのが重要になってくようかと思っておりますので、そういうものにつきましては各ボランティア団体等幅広く意見の聴衆に努めてまいりたいと思っております。

議員（12番 熊谷 健作君） 質問に答えてないんですが。私の質問に答えてないんじゃないけど。

都市建設課長（川西 求一君） 車いす等の利用についての考えにつきましては車で、主に車で来てそれで駅を利用するという形を考えております。それから、周辺のバリアフリーにつきまし

て、道路等のバリアフリーにつきましても、これは高齢者の方、子供さん等が利用しやすい施設ということになるかと思っております。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） 質問に的確に答えてください。それで、駐車場はどれくらいの台数を確保できると思っていますか。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） 現在では、駐車場約990平米と計画しておりますけども、これにつきましても現在の基本計画の数値調査の中で今後決めていきたいと思っております。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） これもまだ固まっていないということによろしいですかね。設計、建設も今基本計画がなされたというんですが、これは多分違うとは思いますが、その実際の自由通路、それからその工事についてはJRのいわゆる丸特業者になるんですか、関連業者になるんですか。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） はい。俗に丸特業者という形になるんですけども、工事につきましては公衆災害防止対策要綱等建設工事に当てはまってこようかと思しますので、鉄道に精通する業者さんによって工事の実施をとり行うようになろうかと思します。特に、線路の上空と線路の地下、これにつきましては申し合わせ等によりまして、工事そのものを管理も含めましてJRのほうに委託、JRとしては受託として工事を行うかと思します。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） 委員会の方も亀川駅に一度視察されたというふうにお聞きしております。私も二、三度行ってつぶさに見学してきましたけども、今私がずっとお伺いしたことについて、亀川駅について比較検討そういったことについて調査されましたでしょうか。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） さきの建設委員会さんと視察を行う前に我々も別府市役所のほうに行きまして、自由通路の委託状況、工事の状況等を聞いてまいりました。それについて、じゃあ現状で比較をしたのかということでございますけども、具体的に今の現設計との比較は行っておりません。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） 最後に、駅周辺整備の最終完成年度で、完了形はと、完成形はとお聞きしているんですが、それは先ほど藤井議員のお話のときはかなりお聞きしましたので、大体頭に入りましたので最終年度だけ教えていただければ。

これが、先ほど言われた27年とかしていいんですか。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） 現在完成年度の目途を平成27年とっております。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） 今いろいろずっとお聞きしましたが、特に亀川駅との比較ということをお聞きしたのは、やはりあそこはこの前新聞にも載りましたが、やはり障がい者がたくさんいらっしゃる町ですよ。ノーマライゼーションというんですか、共存していこうということが進んでいる町ですよ。そういった町にああいうものができるのは、私は当然のことだと思っておりますが、やはり疑問を持つわけですね、日出町にこれが本当に必要なものかどうか。最初はスロープという話がありましたよね。車いすであがるとき。それから、あとはリフトとかいう方式もあると思うんですが、その辺のことについて工法とか予算について検討したことはありますか。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） リフトとか、昇降機等でございますけども、これ今までJR九州との協議の経緯の中でたまたま去年の2月にスロープ等の要望ということで、母親クラブのらんらんさん、それからホンダ太陽さんが町のほうに陳情に見えられました。そのときに4千数百名の方の署名を携えて来ていただいたんですけども、これも持って当時、町長、それから議長さん、それからその団体の代表者さん等でJRの大分支社でのやり取りの一件がありました。そのときにスロープについて、それから何とか現施設での車いすの利用ができないかというのをJRのほうと協議した件があります。そのときには現施設ではスロープがJRの指標といたしましては20分の1勾配なければ安全が確保できない、それからリフトについては非常に故障が多く、かつ補助要員が必要である等の面が指摘され、JR側とすれば安全面からについてはちょっと採用は避けたいという回答をいただいた経緯がございます。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） そうすると、町長にお聞きしますが、本来の自由通路をつくるという目的ですよ。これはなんですか。

議長（城 美津夫君） 町長、工藤義見君。

町長（工藤 義見君） これは私は自由通路ですから、自由に通るわけで。例えば、10号線側から駅前に入ってきたとします。そうしたときには、必ず今のところを酒井サンライズの前を通らないと、JRとしてはあの道からの出入りは時として好ましくない、ぜひ他の位置、そういうことでもう従前から駅前広場が設置されていると思います。

そういうことでありますから、自由通路は例えば下りに乗る人は、北側に来た人は当然そのま

までは通れませんので、自由通路を通過して南側に来て、そして駅に入っていく。今度は南のほうに来た人は、自由通路をエレベーターで上がって、北側に行って今度は上り線に入っていくと。こうすることで、本当は自由通路以外に駅舎をその中に設置するといいわけであります、そうしますとエレベーターが4基いることとなります。非常に多大な経費を要すると。JR側の工費が物すごくかさみ過ぎると。ということから、私どもの計画としてそういう方向もあるんですが、やはり北と南側にそれぞれ駅舎の駅のホームに進入できる方法はないかと、こうすることで検討しております。

いずれにしても、上り線、下り線に乗る方は北のほうから来たときも、南のほうどちらともこの線路をまたがないと列車を利用できないと、こういうことが一つあるわけ。もうこれは絶対にそういうしないと、今言うように駅の一番端から入っていくということは無理であります。そうしますと、今自由に線路をまたぐという、この道が必要である。その上にこの今ノーマライゼーションといわれる身障者の皆さん方の要望で、さっき都市建設課長が申しましたホンダ太陽の社長以下関係者が見えまして、多大の陳情書をいただいております、私の実は21年くらいからしたかったんでありますが、なかなかできておりません。そして新たに一たんそういう簡単に道から出入りできるような勾配を設置するという点についても多大な経費を、それでも危険を伴うとこういう線が出ておりますので、できるだけ従来計画にあった駅舎の方向に向けて市内では検討してきた。こういうことです。いま一つホンダ太陽の関係についてありますが、ホンダ太陽は亀川から、日出の工場のほうに本社が移転して参っております。

したがって、もう日出のほうははるかに、はるかって大変言葉がありますが、ホンダ太陽としては、日出のほうが大きくなっているわけでありまして。そういうことからぜひ亀川と日出との連携を深めたいということで、ぜひこの列車に乗れるようにと。ただ、自由通路をつくただけでできるわけじゃない。ホームが非常に狭くて問題が、今度はしかも高さが低いと、こういう問題が多々あるわけでありまして。そういうことを考えると課題が大きいわけでありまして、まず自由通路をしっかりとって、場合によっては身障者の方も不自由ならば利用できる方向がいいんじゃないか、こうすることで計画を進めているところでございます。

以上でございます。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） 今まさしく言われたように、亀川駅は4つあるんですね、エレベーターが。私絵を見たときに、これはどうやって上がるのかなと思ったんですよ。小さいホームページの絵ですけどね。今言われたように、駅舎のホーム自体も狭いですよね。高さも足りません。だから駅舎自体を改良するのか、それで駅舎のプラットホームを改良するのか、それとあれエレベーターに上がってその高さまで上るわけですね、じゃあ。それで、そこで車いすや健

常者の方もそうでしょうけど、おりて後はまたエレベーターが一番上まで上がると、そういう行動なんですかね、あれは。

その辺ちょっと行動的なものをちょっと説明してもらえますか、それとプラットホームを改良するのかどうか。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） エレベーターの使用形態につきましては、とにかく南から近づいてきた人が北側に渡るときについては、まず平面からエレベーターに乗りまして上に上がります。自由通路を自力で行きまして、そしてまたエレベーターに乗り込みましておりて北側の駅前広場に着く、もしくはそこから駅の窓口を通過してホームに上がっていくという流れを今考慮しております。その中で、先ほども言いましたように現在のホームの広さ等では車いすの方の出入りが、混乱性が出てくるんじゃないかならうかというのは、それはもうわかりますので、そういったところの設計も含めましてJRと協議して、とにかく使える施設をつくらなければいけませんので、JRのホームのほうを広げたりとか上げたりとかいうのを、この実施設計に向けてJRと詰めてまいりたいと思っております。

それから、そういったものにつきましてもう本当専門家の御意見、それから町民の方のいろんなそういった具体的に使用される方々の意見等も聞かなわかりませんので、それでその計画につきましては広く町民の皆さんに広報を行ってまいりたいと思っております。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） エレベーターの行動はちょっと説明理解できないんで、また後でそれはゆっくりお聞きしますが。

これがですね、町長5千万とか1億の施設ならまだいいんですが、2億4千万かけてこれをするのがなかなか理解が私半々だと思うんですよ、町民の反応は。盛んにホンダ太陽の方から要望があったという話ですが、私自身のことをちょっと申し上げて申しわけないんですが、私も亡くなった長男が障害だったんで、電車が好きで結構あちこち行っていたんですよ。それで、時には別府駅から中津まで行って、何もしないでそのまま下って帰ってきたこともあるんです。そういうときに本当に車いすは大変だなというのは痛感しています。ですから、私はこれはつくっていただきたいと思うんですよ。ただ、ほかの方式があってもっと割安にできるんなら、その方式にやっぱりある程度検討をする必要あるんじゃないかと思うんですよ。

だから、やっぱ私だからこれは逆に言わなきゃいけないかなと思うんですよ。50メートルくらいの距離だったら要らないんじゃないかという人がやっぱいると思うですよ。回っていきゃいいじゃないかという人がですね。その辺のやっぱ研究というんですか、リフトがなかなか難しいという話もあったんですが、だからその辺はもう少しやっぱりとにかくどんどん突き進める

んじゃなくて、一遍立ちどまって検討していただきたいと思います。

町長は、私がこの前委員会でこの問題をちょこっと言ったら、障がい者の方のことはいいんですかというふうに言われましたけども、じゃあ日出町がほかのことは障がい者のことをしているんですかって私は聞きたいんです。前々回ですかね、私、去年ですか。障がい者の職員採用はどうですかと言ったら、その後何もお話ありません。それも検討したようなふうもありません。まず、そういうところから始めていただくことのほうが私は、先かなと私は思うんですよ。ですから、これは私反対するわけじゃないんですよ。それはああしていただきたいと思うんですが、2億4千万かけて、財政課長わかりましたか、日出の負担は、日出町の負担は大体。もしわかれば教えてください。

議長（城 美津夫君） 財政課長、高倉伸介君。

財政課長（高倉 伸介君） 7千万円の 1億7千万が基準財政需要額 ちょっと大きいな、ちょっと後で。

議長（城 美津夫君） 町長、工藤義見君。

町長（工藤 義見君） 自由通路の関係であります、私は確かに高いんです。しかしこれ以外に下げられないくらいに下げてあります。と申しますのは、エレベーターを4つを2つして、それから駅舎を通路内に設けない。別途で紙ができております。それと、日出町のこちらの旧市街の方向と、北側のこのやっぱり大変商業的に何しております佐尾地区が発展しております。そういう人たちの結び、結節点にもなるわけであります。

ですから、これは駅の自由通路と考えると同時に町民の南北の通路ということに考えております。したがって、16年から17年にかけて都市計画をやりましたときには、総額29億をかけて駅舎をしてこの日出の役場のところまで道路をまっすぐ持つてくると、こういう計画であります。その財源は、当然ことながら合併債を使おうとこういうことであったわけでありましたので、非常に高く感じると思いますが、日出町の南北の交流結節とするためには、非常に重要な道になる。駅のことでも大変そうであります。良好してある、あるいはノーマライゼーションを中心とした福祉の関係のもの、あるいはまた日出町の将来の今の新市街と旧市街を結びつける結節点であると。こういうふうにぜひ考えていただくと、ぜひともこの機会にぜひさせていただくことが日出町の将来の発展のために大きく貢献するのではないかとそういうふうに思っております。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） 先ほども言いました亀川駅ですね、あそこは新聞に出ていましたように東西が分断されているので、あれで今町長言われたような役割を果たすと。あそこはやっぱりかなり遠いですよね、踏切まで。昔の新川のお店があったとこの交差点、踏切から今の亀川の古市のところの踏切までかなりの距離があります。だけど、日出の暘谷駅は先ほど言われた

ようにそう遠くはないんじゃないかなち、私は思うんですね。

何でこういうことをいうかということ、やっぱり私たちがこれをつくるといことになれば、やはり町民の方に私たちが今度は説明しなきゃいけないわけですよ。やっぱり必要なものなんですよと。要るんですよということを私たちが説明しなきゃいけないんです。ですから、これしつこく聞いているんですが、ですから先ほど言いましたように、とにかく突き進むんじゃなくて、もう一度一遍部内でほかの方法がないのか、検討をしていただけないということをお約束できますか。それとももうお前の意見はだめだというふうなことですか、どちらですか。

議長（城 美津夫君） 町長、工藤義見君。

町長（工藤 義見君） もう既に基本計画の設計委託を行っておりますし、そういうことを十分考えながら、今後でも町民の皆さんの意見を聞きたいと思いますが、規定の方針方向に従って進めさせていただきたいというふうに思います。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） もう財政課長いんです。後で。もう基本計画をつくっているから変えられないということですので、それは良としますけども、とにかくあとは町民への説明ですよ。2億4千万のうち自己負担がこれくらいですよと、そういったことから始めて、先ほどの説明で私はなかなか町民の方は納得していただけるかどうかわかりませんが、ホンダ太陽の方ばっかしのことを言っても、日出の町民にその中に何人いるんだという話になるからですね。難しいと思いますよ。ですから、その辺は本当に丁寧に説明していただければと思っております。

最後の質問に参ります。イノシシ対策についてでございますけども、私が町内の農家の方とよくお話すんですが、そういった場合に最初は作物の話とか、作物のできの話とかあるいは世間話をしますけども、その次に必ずイノシシの話になるんですね。大変だ大変だと言われます。それはもう皆さんも一緒だと思いますけども、とりあえず最初にお聞きしますが、年間の町内の被害額、それからそれに対応している職員数は今何人で対応しているのかお聞きしたいと思います。

議長（城 美津夫君） 農林水産課長、村井栄一君。

農林水産課長（村井 栄一君） 熊谷議員の御質問にお答えします。

1番の、町内の年間被害額と対応している職員数についてであります。日出町においてのイノシシの被害額につきましては、農作物を中心に平成21年度が781万6千円、22年度が720万1千円、今年度におきましては307万3千円であります。8月末現在の数字であります。それ以外に本年度はカラスの被害もありまして、それを合わせますと471万9千円となっております。

次に、対応している職員数についてであります。耕地、林業、水産係長以下3名で対応して

おります。その内容といたしましては、被害地区、被害状況の確認やわなの設置、撤去の補助及び捕獲頭数の確認等であります。また、職員以外にも国の緊急雇用対策事業によりまして、4名の非常勤職員を雇用し鳥獣害対策被害に取り組んでいるところであります。

以上であります。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） 昨年、行政視察研修で唐津市に行ったときに、ここでも報告申し上げましたが、唐津市では有害鳥獣対策室というのをもうわざわざ設けて、専従の職員を何人が配置しております。その室長さんという方にもお会いしてお話を聞きました。あそこは資料を見るとやっぱり被害額が、町も大きいんですが1億ほどあるんですね。それを真剣に取り組んだ結果、イノシシが年間2千頭を超す駆除を行ったと、かなりの成果が出ているわけです。財政規模も年間予算が600億くらいある町ですので、思い切った予算配分ができるんだと思うんですけども、日出町もこれ本当780万から720万ということで、かなり被害が出ていますので、職員がですね、3名がほかの仕事しながらというのはなかなかやっぱり身が入らないんじゃないかと思えます。

また、私たちが昨年の委員会で2回くらいまた提言したんですが、職員に狩猟の免許を持たしたらどうかと、そういうことも提言しましたが、なかなかそれも難しいという報告でしたが、やっぱりそういった専門性を持った職員というのをやっぱりつくったほうがいいんじゃないかなと思うんですよ。

先ほどの委託料の話にも私申し上げましたが、今からやはりそれぞれの専門分野で真剣に研さんして、あちこちに研修に行くと、イノシシがたくさんとれる方法を知っている町に行って研修をすると、そういったことが私は必要じゃないかと思えます。もう1名か2名ですね、係として任命していただいて、1年中朝から晩までイノシシのことを考えると、とにかく駆除することを考えると。それが私は一番手っ取り早いんじゃないかと思うんですよ。そういうと、必ず何か町長たちは1つの係をずっと置いておくのは何か問題があるとおっしゃいますが、今ここにいる方も1つの部署に十何年いらっしゃる方がいますよね。ですから、私はそれは問題がないんじゃないかと思うんですけど、どうでしょうか、そういう考え方は。町長お願いいたします。

議長（城 美津夫君） 町長、工藤義見君。

町長（工藤 義見君） 専門性を持つということは大変重要であります。しかも、被害がありますから、被害を最小限に食いとめる、そのために昨年の6月、9月、12月、そしてまた当初予算等で箱穴であるとか、電気さくであるとか、あるいは緊急雇用対策によって職員の採用をするとか、今のところ万全な体制を整えてきておりまして、ちょっとはつきりしませんが100頭まで行ってないようですが、100頭に近い捕獲を実現しております。



したがって、まだその中でも多くの被害が出ております。私は、日出町は他の市町村の鳥獣の解禁とかそういうこととは別に人命と非常にかかわりがある。安全の問題と非常に日出町はかかわりがある。特になかなか鉄砲を撃てないという状況があったりします。そういうことからすると、もう言われるとおり選任してやるくらいな感じである必要があります。そういう意味から、ことしはかなり職員配置がありますが、来年をどうするかと。緊急雇用がなくなって、4名がなくなってきますから、そういうものをまたそれに対応するような職員配置をしないといけないと思いますが、現在のところ係をつくるという段階までには至っておりませんが、過大のないような職員配置はぜひ心がけたいと。

以上です。

議長（城 美津夫君） 12番、熊谷健作君。

議員（12番 熊谷 健作君） 県もなんかことしは本腰を入れて鳥獣対策をするという、なんか対策本部まで設けたというんですが、何か聞くところによるとまだ日出町には予算も何も来ないということで、実際問題本当やるのはもう市町村ですよね。何ぼ県がいろいろ言うても、あとはお金を幾らくくれるかだけです。ですから、今言ったようなことがもし可能であれば、ぜひ研究してイノシシ博士を日出町から誕生させていただくようお願いしたいと思います。

これで質問を終わります。ありがとうございました。

.....  
議長（城 美津夫君） お諮りします。ここでしばらく休憩したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（城 美津夫君） 異議なしと認めます。したがって、しばらく休憩します。午後1時10分より再開します。

午後0時07分休憩

.....  
午後1時10分再開

議長（城 美津夫君） 休憩前に引き続き会議を開きます。一般質問を続けます。

13番、佐藤二郎君。

議員（13番 佐藤 二郎君） 13番、佐藤二郎でございます。大変な御期待をいただきまして、午後の貴重な時間私の質問にお付き合いいただきまして誠にありがとうございます。3・11、さきの東日本の大震災が起きて約半年が過ぎようかとしております。いまだ行方不明、状態のわからない方々が4千人を超えるような方々がおられる。まずもって衷心よりお悔やみと哀悼の意を表したいと思っております。

日出町でもこのようは大災害に対応すべきハザードマップ、マニュアルの見直し検討が進められ、海岸部では津波による防災無線の整備、避難場所の変更や町内の海拔標示の設置、各小中学校には災害時の備品の整備が行われています。また、予定をされております。住民の安全安心を第一に、でき得るハードの整備と町民へのソフトの提供が強く望まれるところでもございます。町長には、町内全区の地域防災組織がペーパーの上の組織にならないよう、訓練等を行える支援を最大限実施すべきとまずもって意見を申し上げておきたいと思っております。

前置きはこれくらいにいたしまして、質問に早速入らせていただきます。工藤町長、あなたは7年前に合併論争の中、単独のまちづくりを掲げ町長に就任されました。国や県、合併をしない町として大変厳しい仕打ちとも思えるようなことを受けながら、日出町の存続に取り組んでこられました。きょうここに、おかげでまだ再建団体になることなく、日出町は健在に町民福祉に努めていただいております。深く敬意を表すところでございます。

そこで、工藤町長お伺いいたします。町長に就任されたときに掲げた主要施策はどのようなことだったか、まずはじめに確認をさせていただきたいな。そして、その後きょうまでの町長の重点施策というものはどういうものであったのか、非常にアバウトではございますが、簡単に御説明をいただけるとありがたいです。

後ほどの質問は町長の答弁によってさせていただきたいと思っております。

議長（城 美津夫君） 町長、工藤義見君。

町長（工藤 義見君） ただいま佐藤二郎議員の町長に就任して上げた主要施策はどのようなものだったのか、確認したいと。また、その後の重点施策はどうなっているかという御質問でございます。

私が町長に就任いたしましたのは、平成16年の9月6日でございます。早速平成16年の9月22日でございますけれども、日出町の第3回定例議会が開催をされず当たりまして、所信の表明をさせていただきまして、その内容については議会議事録に詳細に上がっているところでございます。

そこで、そういうものを含めまして、就任2期目は先ほど議員がお話になりましたような時期に町長に就任をいたしまして、ちょうど合併問題が争点でありましたので、合併の選挙にあたりまして合併をせずに日出町単独での町政を推進するというようなことを申し上げましたので、そういう方向で町政を担当してまいったわけでありまして。そして、町政の方向として掲げましたのは、町政の刷新と浮揚に挑戦という2つの点を掲げ、住民の皆さんが大いにサービスの徹底を受けられるような町政を目指したいというようなことを申し上げましたので、そういう線に向かって誠心誠意努力してまいりました。

就任当初は、財政の健全化と6つの約束というようなことを申し上げておりましたが、当然の

ことながら、社会情勢の変化に対応するための組織改革と事務事業の選択と集中、町有施設の休日事業などの推進、合わせて住民サービス意識の徹底を図るための意識改革、こういうものについて重点的に取り組んでまいりました。

そして、何よりもまず取り組まなければならない喫緊の課題は、財政の再建であったわけであり、中期財政収支の試算によりますと、平成17年度には累計で3億7千万円赤字、平成20年度末には16億円以上の財政赤字が見込まれましたので、これを克服するために第1次の行財政改革プランを策定しまして、徹底した内部経費の削減を図るなど、種々の対策を行ってまいりました。一方、財政再建に努めながらもこれによって萎縮することのないよう発展の原動力となる施策は果敢に推進すべきであるという考え、そういう考えのもとに今日まで進めてきたつもりでございます。

その中で、平成18年度には向こう10年度の町政の方向を定めた第4次日出町総合計画をまとめ、その中には人と自然が調和したふれあいと活力あるまちづくりをテーマに自立の町政を進めてまいりました。それは、少子高齢化の時代、人口減少時代にあって、いろいろな課題が山積する中で、それらの課題に対処すべく、誇りに思い自慢に思える住みたくなるようなまちづくりを強く推し進め、住環境の整備などを通して人口の3万人の町というようなことを目指してまいりました。そのための具体的施策として懸案事項だった高校跡地の活用、中心市街地の顔づくり、道路の整備、文化遺産を生かし守り育てるといような観点の町政も推進してまいりました。

1期目は、新たな視点から物事を考え、仕事の挑戦し明るい展望の持てるまちづくりにするために、さまざまな対策を講じ、財政の健全化に努めてまいりました。また事務事業の見直し、適正な人員配置によりスリムで効率的な町政を推進しました。2期目については、基本的にはこれまでの方針・方向を踏襲しながら、引き続き第4次総合計画にございます人と自然が調和したふれあいと活力あるまちづくりを目指し、施策のさらなる推進や中心市街地の活性化対策など、将来を展望しての新たな取り組みにも挑戦してまいりました。そのようなことが骨子として申し上げられるのではないかなと、そういうふうに思っている次第でございます。

議長（城 美津夫君） 13番、佐藤二郎君。

議員（13番 佐藤 二郎君） 私は就任当時の会議録をちょっと見てなかったんですけど、ちょっとまずかったなと私今反省しておりますけれども、今町長申されたように非常に前向きで一番やはり就任当時に取り組みされたことというのはやっぱり財政再建だったと思うんですね。やはり合併しない町はどれだけの、先ほど私言いましたけれども、やはり国県からの自主財源率からすれば、やはり交付金に頼っている日出町でございます。そういう点でここを落とされてくるという形、やはりその分をどうしてもやはり枠内でおさめなきゃならない、やはり財政再建が一番だ

ったんだなというふうに私自身感じております。そういう中で、私も町長とおつき合いを議員としてさせていただき、随時見てまいりました。

特に、財政改革、事務事業の見直し、それから職員の削減こういうことがやはり一番の喫緊の課題だったんだなというふうに感じておりました。そういう中で、第4次の総合計画は計画として上げられていた。こういっただけでも見直しが次にきたんじゃないかと思いますが、今申されたようなこの7年間、町長施策立てられ、日出町の羅針盤として方向づけてまいりました。こういっただけの施策、どれくらい達成できていると、町長、自己評価いかがですか。

議長（城 美津夫君） 町長、工藤義見君。

町長（工藤 義見君） 施策の達成の度合い、状況についてであります。財政再建といいますが、財政の健全化については第1次行財政改革を行いました。その成果は一定の目標を達成できたのではないかと、そういうふうに思っております。

当時の財政収支を試算しますと、平成17年度には累計で3億7千万円ほどの赤字が見込まれておりましたし、20年度末にも16億円程度の財政赤字が見込まれるという状況の中で、その赤字への転落はぜひとも回避しなくてはならない。そういうようなことでございましたが、現実にはいろんな好条件といいますが、環境に恵まれて財政調整基金については10億円近い上積みができ、借金であります町債についても特別会計を含めてではあります。165億円程度から148億円程度、約17億円の減少となって今日に至っております。しかし、依然として景気が低迷し、経済情勢の不透明の中での状況でございますので、医療福祉などの社会保障費も増大の一途をたどっている状況でございますし、歳入減、歳出増の厳しい財政状況が続いております。そういうことから事務事業の選択と集中を引き続き行い、気を緩めることなく財政健全化に努めてまいらなければならない、そういうふうに思います。

また、社会情勢の変化に対応するための組織改革、これも組織改革をしっかりとやりますというふうに思う仕上げたわけではあります。そういう関係についてであります。役場出張所の改編を行いました。4つを廃止させてふれあいセンターということで非常勤の設置をさせていただきました。あるいは、当時の企画振興課を新たに企画財政課ということになっておりますが、企画振興課の新たな課の新設を行いました。まちづくりの一元化を進めてまいっております。また、都市計画課と当時の建設課を統合しまして都市建設課に福祉施設と健康づくり、医療関係をより充実強化するために福祉保健課を福祉対策課と健康増進課に取り分けて取り組みの強化を行うという方策も試みて今日に至っております。また、一時的な組織でありましたが、国体の開催前でございますので国体推進課の新設を行いました。これは、終了とともに廃止させていただきます。その後、耕地水産課と農林課を統合して農林水産課に、水道課と下水道課を統合して上下水道課に改め、今後の政策とスキームをスムーズに行うために企画振興課に広報公聴課と統計係を統合

させて、今年度から政策推進課というものに改編を試みておるわけであります。

こういうようなことを経て、組織改革は一応終了したのではないかとというふうに考えております。その中でいま一つお約束しておりましたのは、中央公民館、児童館、福祉センターなどの町有施設の休日利用をこれまでは月曜日から金曜日の中心の施設でございましたが、町民の皆さんの利便性を図るためには、土曜、日曜、祭日に開館する必要があるという観点から、そういうことについて努力を試みさせていただきました。

それから、いま一つ住民サービスの意識の徹底を図るための職員の意識改革についても重要な問題として取り上げてまいりまして、職員研修の充実を図ってまいっております。これは、反省しますとまだまだ道半ばという状況にあるのではないかとというふうに思っております。今後とも力を注いでまいらなければならぬ大変重要な部分であるというふうに思っているわけでございます。財政含めてどういう状況かという以上のような状況ではないかと思っております。

以上でございます。

議長（城 美津夫君） 13番、佐藤二郎君。

議員（13番 佐藤 二郎君） 町長のほうから今評価についてのお話いただきました。職員の研修なんていうのは、これはもう随時でしょうね。町長いる間は職員の研修は必要だと思いますね。職員もそういう意味で研さんを図られることじゃないかなと思います。おおむねみずからが施策として上げてきたことに対しては、おおむね100%とはいいませんけども、おおむねという意味合いで私は受けとめさせていただきたいと思っております。

そういう中でちょっと一、二点お伺いいたしますが、日出町の総合計画の中に豊岡公園というのがございました。豊岡公園の、豊岡公園、運動公園ですか、この事業が大型でございました。午前中の本会議でもありましたように、この高校跡地の周辺整備事業がございました。こういうものが大きく変更、または中止状態にあるということが他にもございますが、一例でお伺いいたします。

特に豊岡運動公園におきましては、早速町長は一時休止と、こういう形を打ち出しました。そういう中でちょこちょこ最近はやっておるようなんですが、これまでにやはり国の補助金または私どもの一般財源をかなり投入しております。前町長時代に随分これ苦言を呈してまいりました。つくることではございません。土地の買収に対して、買収の仕方に対して私随分意見具申をいたしました。今現在かかわっている所管の部署でお困りだと思います。土地の買収が予算の消化のできる状況に見合って買収をしている。私はこの本会議の中でも前町長に強くお願いしたんですけども、なかなか取り入れてもらえなかった。それは、結果的に今買収されている日出町の町有地が牛に例えて申し上げました。ホルスタイン事業ですかと。乳牛のように白いところ、黒いところができているような全く土地がつながらないような買収の仕方やっているんですよ。こういう

状況を随分私指摘してまいりました。このような土地を工藤町長受け取られて、また行政改革の中で休止をされて、一部を道路に使ったり、地域の方々の憩いの場に使ったりしておりますが、こういった積み残したものの、また午前中の質問でもありましたような高校跡地の当時の事業では、役所の横から向こうに渡船橋を渡して、向こうとの新しい地域との交流の図れるようなまちづくりが計画されておりました。これも頓挫いたしました。

先ほど来、議題に上がっておりましたように、駅舎の活用で少しお茶を濁しているようですが、こういったものは合併に向けてはすべて特例債でという日出町の大きな夢といたしますが、期待をしていた事業なんですね。その反面、休止や若干のそういう改善でお茶を濁しております。その割に工藤町政の中では川崎グラウンドを購入したり、他の安養寺グラウンドを芝生化にしようとか、こういうような事業も取り組んできております。こういった、主要施策、大きな課題を残しておる地域の方が大変期待していたものを積み残しているんですが、現在そういうものに対してどういうお考えをお持ちなのか。所管でもいいですが、町長でもどちらでも構いません。御答弁いただきたいと思います。

議長（城 美津夫君） 町長、工藤義見君。

町長（工藤 義見君） 詳しくは担当課長から御説明させていただきますが、私の知る限りでは投資額22億ほどかかったわけでありまして、現状までいくと用地取得が36%程度、そして言われたようにまだらな土地取得になっております。私が心配したのがあと十四、五億の金がかかるということで、財政再建の途中においてこういうことを新たに、計画では22億であります、そういう程度ではおさまらない状況にあるとそういうふうに思って、これから土地を取得していくということは極めて困難であるということから、休止にさせていただいて、休止しますと当然今まで使った国庫補助関係事業の補助金の返納問題が当然生じてまいります。そうすると町に対して不測の障害になるわけでありまして、この補助金の返納が起らない形で、今後ともせっかくやっている状況でございますので、どうすべきかという内部で検討させていただいて、休止する中で、また当面購入しておりました箇所については、周辺の人たちが利用していただけるようにということから、あそこは全部開発をしまして、ちょっと更地にして同時に町有地でありますから、あのところだけ道の拡幅をさせていただいて、町有地でありますからいつでもできるということでもあります。そのほか、内部でいろいろ検討しておりますので、検討の結果等については担当課長から説明をさせていただきます。

ただ、本年度予算の中に若干ではございますが、今後どういう形で整備するか、まず道路等の整備も必要ではないかという、これは当初から計画がありました。この計画は当初からいきますと、豊岡までずっとして大きな大変、幹線道路をつくるという構想でございますけど、まず周辺道路の整備というようなことも必要ではないかということから、若干の着手にかかっております。

基本的には今の取得する土地を十分活用しながら、それを生かしながら新たにこの土地を必要最小限にとどめて、うまく活用できる方法はないか、こういうようなことで考えておるわけでございます。相当いろんな検討を重ねてきておりますの、担当課長から説明をさせます。

議長（城 美津夫君） 都市建設課長、川西求一君。

都市建設課長（川西 求一君） 昨年3月議会で、後藤佑議員、それから城美津夫議員さんより同様の御質問、それから要望を受けました。その中で少なくとも、現在あります町道長野線と町道山田線との約520メートル間につきましては、公園等も非常にその関連性が深いので、通路もしくは道路そういったものを考えてみてはどうかという御質問がありました。この方向に基づきまして、実は当初予算で本年度調査設計委託ということで500万いただいております。下半期に向けまして、その道路の可能性、通路の可能性、これについて数案、現地の再度の調査も含めて今から今年度実施してまいりたいと思っております。

それから、それにつきましては公園の全体像を描くことがもう最重要ではあります。しかしながらその公園と道路の関連性というのも深うございますので、まずはその通路がいかなる形態で可能課ということを今年度探った中で、先ほど町長のほうから申されましたように今既に買収させていただいている土地を最大限利用する中で、どのような公園としての利活用ができるかというのは平行して、相談して協議を重ねていきたいと思っております。

また、それに伴いまして、追加的な土地等が発生してくる可能性もあるかとは思いますが、事業といたしましては、事業認可、都市計画事業の事業認可という形で今までも行ってきているわけなんですけども、この事業につきましては平成25年度まで休止をさせていただいて、その中で住民の方々、それから町内部の検討を進めて、あるべき姿を求めていきますということを、大分県の評価監視委員会等にも御報告しているところでございます。

また、今後のそういった土地活用を含めましてまた議員の皆様方、それから地域の皆様方に意見を聞きながら、計画を進めてまいりたいと思っております。

議長（城 美津夫君） 13番、佐藤二郎君。

議員（13番 佐藤 二郎君） やはり豊岡運動公園の前町長さんだと思いますが、私これ大失政だと思いますね。こんな形を引きついで、後の事業も合併という問題があってこういう形になって、順当に右肩上がりの経済情勢ならば22億、25億の事業できたのかもしれませんが、私はやはり手法としてさきに申し上げたように、やはり土地の買収の仕方間違っていたと思うんです。これ私ども議会も認めてしまっている。議会も責任あると思います。このことの始末が今大変御苦労されているんじゃないかと思えます。ぜひともこれ町長が言われたように補助金の返納にならないような形で活用を、またあの中にはやはり幹線であります須崎新田線の計画が入っているんですね。これもだから須崎新田線が辻間団地でとまっておるような状況ですね。こういう

ようなこともやはり旧豊岡の方々が大変期待していたところはないかと思うんですね。ぜひとも、きょうの私の質問の中で今都市建設課長も、県の都市計画審議会、国のほうもやはり事業の進まないやつはもう予算をつけませんよと、事業認定取り消しますよとこういうような事業が出ているのは事実だと思うんです。

ですから、この辺のところをやはり一般財源を無駄にしないような補助金を無駄にしないようなこういう形でぜひとも取り進んでいただけると、改めて私ここで申し上げておきたいなと町長も大変前向きに取り組んでおられます。特に生活道路の整備、一生懸命やって年間に何本やっているかなというくらいちょこちょこやっていたいております。ぜひともこの大きなものにもやはり目をそむけないように、ぜひともここでお願いをしておきたいと思います。

次に、町長のこれまでの施策、みずからの評価もまずまずだとおっしゃいました。ただ、しかし先日の22年度の監査委員さんの報告でもやはり財政の硬直化、財政の厳しさ唱えられております。現在の財政状況、または今後の財政の見通しについて改めてここで伺いをしたいと思っております。

議長（城 美津夫君） 町長、工藤義見君。

町長（工藤 義見君） 財政の状況そして見通しということでございます。現在の財政状況は歳入については個人町民税をはじめ、町税収入が長期にわたって景気低迷の影響により平成18年度に32億8千万円ございました。これは実はテキサスインスツルメンツ日出工場が臨時的収入があって、かなり大きな収入があったことであります。日ごろからちょっと多過ぎるくらいな収入でありました。それが、逐次減少をたどっておりまして、平成22年度現在で27億4千万円と額からいくと5億4千万円ほど大幅な落ち込みを見ております。

それに引きかえ地方交付税は基準財政収入額の減少や、交付税のこの賦課措置、加算措置等によりまして平成19年度、実は大変厳しい時期14億の交付税でありました。そういうものが現在では、平成22年度では24億9千万円と10億9千万円ほどの大幅な増加をみるに至っております。その結果、一般財源比率が上昇し、経常収支比率や実質公債比率など財政指標の改善に交付税のために貢献しておるといえるのではないかとそういうふうに思います。

しかし、一方で自主財源比率は減少し、地方交付税が緊急経済対策などの国庫財源に支えられている依存構造が進んでいるという状況は間違いございません。徴税等の収納率の向上など、さらに自主財源の確保に向かって一層の努力を傾けていかなきゃならん、そういうふうに思っております。

歳出についてであります。経常収支比率等の削減が効率的に努めるなどで徹底した抑制を図ってまいっていくところから、少子また高齢化の進展など社会情勢の変化に伴いまして、扶助費等の社会保障関係経費の増加は今後とも避けられない状況にあるとそうふうに思っております。



これらの一般財源の枠配分により抑制を図ってきました投資的事業についても、さきの東日本大震災を教訓に住民生活の安全安心の観点から現在では小中学校の耐震化事業や防災行政無線事業等の防災関連事業にも、現在は積極的に取り組んでいるのが現状でございます、事業量としてはかなりふえてきておるとい状況でございます。

最後に、今後の見通しということでございますが、地方交付税は町税収入により増減がいろいろあるわけではありますが、中期財政フレームによりますと、平成26年度まで、平成23年度地方交付税計画の水準を下回らないようにという1つの方向性がございますので、そういう観点から現状で推移するのではないかとそういうふうに思っております。

また、基金の積み増しや地方債の減少など明るい兆しはあるものの、御案内のとおり社会保障経費がさらなる増加をする傾向にあります。加えて、この旧庁舎や中央公民館、あるいは地区公民館などの老朽化した公共施設の耐震化や増改築、公共下水道事業の浄化センターの増設あるいは一部事務組合関係の施設の更新、増改築、そしてまたきのうもここで課題になりましたけども、学校給食関係の施設の更新等いろいろ懸案事項が多々あります。さらに加えて、先ほどから議論になっております暘谷駅を中心とした都市再生整備計画の実施など、今後も財源を必要とする事業が目白押しであるわけでございますので、引き続き厳しい財政運営になるだろう、そういうふうに思っております。

見通しとしてはそうではありますが、それだけにしっかりした町政の財政再建への、あるいは財政運営への取り組みは続けてまいらなければならん、そういうふうに思いました。

以上でございます。

議長（城 美津夫君） 13番、佐藤二郎君。

議員（13番 佐藤 二郎君） 財政課長、お伺いします。自主財源率が上がると交付金が減ります。簡単に言えば、はかりにすれば、どの辺がバランスだと思えますか、日出町の規模で。

議長（城 美津夫君） 財政課長、高倉伸介君。

財政課長（高倉 伸介君） 佐藤二郎議員さんの御質問で、どの辺のバランスということでございますが、実際交付税の場合、基準財政収入額の75%が基準財政収入として入ります。税収が90%で推移すれば15%ほどの収入が上乘せされるので、自主財源が高いほうが総トータルの一般財源というのは多くなると思っております。どの辺が正しいのかと言われると、私もそこまではちょっと詳しくわからないんですが、多ければ多いほどいいんじゃないかというふうに思うんですが、大き過ぎて不交付団体になっている自治体もありますが、どの辺というのはちょっと難しいところがあります。多いほうが15%のその間の分が上乘せされた自主財源があるんじゃないかと、そういうふうに思っております。

議長（城 美津夫君） 13番、佐藤二郎君。

議員（１３番 佐藤 二郎君） 時々首長さん方とお話しする機会がございますと、やはり町長が一生懸命に黒字の上積みと申しますが、基金の上積みを努力いただいて、基金残高も徐々にふえて、特にやはり町長は就任して以来やはり、財政改革のプライマリーを唱えておられました。やはり借金するよりも返す金をたくさん出そうじゃないかと、こういう形で何とか今のところずっときていると思うですね。推移しておりますが。

今私、財政課長なぜお伺いしたかといいますと、やはり首長さん方、苦勞して辛抱するよりも、どうせ自主財源少ないだからぎりぎり使おうじゃないかと、やはり交付税措置または補助金等やはりいただいたほうが特じゃないかと、こういうようなぎりぎりの選択をする首長さんいらっしゃるんですが、財政課の立場でいかがですか、その辺。

議長（城 美津夫君） 財政課長、高倉伸介君。

財政課長（高倉 伸介君） 補助金等はできるだけ研究して、いろんな補助に乗せれる事業はすべて補助に乗せていきたいなと感じております。

交付税につきましては、先ほど申しましたように基準財政需要額と基準財政収入額の間でございますので、基準財政収入額、税収が上がれば交付税は下がってきます。しかし、税収が上がるとことは活力が増しているということなので、私のほうは交付税が下がっても税収が上がったほうが良いというふうに考えております。

以上でございます。

議長（城 美津夫君） １３番、佐藤二郎君。

議員（１３番 佐藤 二郎君） まさに活力の問題にいくと思います。そうだと思うんだけど、その辺のバランスをやはり町長の政策の中で十分生かしてほしいなと、こういうことを申し上げたかったんで、改めて財政課長の方にお伺いしました。今後の財政の見通しについて私のほうから若干意見具申をしたいと思っております。

やはりこれからは、やはり地域主権という形で、日出町、町長の考え方によって、町長の財源確保によって、日出町のあり方というのは随分変わってくるんじゃないかと思っております。そういう中でやはり先ほど町長もおっしゃっていましたが、やはり社会保障費というのはこれはもうだれもがわかっているように減るということはないですね。増加するというのははっきりわかっているわけで、そういう義務的経費というのが非常に大きく負担になっている。そういう中で、またこの広域におけるごみの処理場、または杵築にある消防本部の建設こういったものの関係予算、さらにはやはり浄化センターも今後また改修とか、今広域の浄化センターですね、それからやはり水の施設も今改修に入っております。こういった大型のものが近々に求められている部分じゃないか。

さらには、やはり子供たちの安心安全の学校の耐震化、豊岡小学校を今手がけておりますが、

こういうやはり1億、2億でできないような大きな事業が目白押しでございます。そういう中で私、先ほど豊岡運動公園の話しましたけれども、ちょっとできっこないような状況なんですね。ですから、今後近未来のここ何年かの見通しについて、町長大変厳しいという口でおっしゃっておりますけれども、この辺のところ町長一つ一つ見てもかなりの一般財源の持ち出しが今後出てくる、プライマリーがどうかという、そういう中での町長のまだ投資的なものやりたいものたくさんあるかと思いますが、町民の方はやはり文化ホールが欲しいとか、こういうような声もたくさん聞きます。しかしなかなか手がつけられない部分がたくさんあるんじゃないかと思えます。そういう意味で、非常にやはり今後の見通しも決して甘くないな、厳しいなというを感じていますが、町長そういう具体的に私のほうから、そういう目白押しの具体例上げたんですが、その辺をどういうふうにとらえておりますか。

議長（城 美津夫君） 町長、工藤義見君。

町長（工藤 義見君） お答えいしたいと思えます。

今プライマリーバランスの話がありました。日出町も中期計画、5年をめぐりにして毎年毎年ローリングしていますから、5年間計画等についてある程度見通しを立てております。それとまた10年計画、中期長期的な見通しも立て、そういう中で考えてみますと、私は県の中で、県の財政基金等についてみますと大体8%程度だと思って、日出町の場合は16%程度の基金、10%超えてきてあるんで、私はよくため込んだといえるような状況にあります。

しかし、今後は今言われるような大型事業が目白押しでありますので、このプライマリーバランスの均衡はやや欠けるだろうと。それでも、私は町がよくなることが優先でありまして、そういうことをすれば財政の均衡とか状況を悪化させるということは余りよろしくありませんが、若干のバランスは壊れても私は常時事業についてはきちとした取り組みをして、先行投資をして、後に備えて日出町の力を蓄えて、それによってまたあの力が出てくるというような先行投資を若干していく必要が今後あると、そういうふうに基本的に思っております。課題があっても今中期長期計画をしっかりと見通しながら、その中で危険信号が出たときは危険信号が出たように、状況がいいときはいい状況のように、そのために一時広報紙にも正確に偽りなく情報を提供しているというのが状況でございます。

したがって、今後とも大きい事業があってもかなり無理をしなければ、着実に進めていけば私は十分対処できるんじゃないかとそういうふうに思っております。

以上でございます。

議長（城 美津夫君） 13番、佐藤二郎君。

議員（13番 佐藤 二郎君） 私も同感だと思います。町長、とうとうプライマリーを壊すと、政策変更するという発言がやっと出てまいりました。一昨年ぎりぎりちょっと状況が怪しいな

と私は思って指摘いたしましたけれども、やはり今年度の予算を見ているとだんだん厳しくなっているなというのを感じます。中央政権も早く政策変更しておったらこんなに悩んでね、政策もうまくいってたんじゃないかと思うんですが、町長いい時期にそういう政策の転換といいですか、考え方、することがいいわけじゃなくて、努力するという考え方、必要じゃないかなというのを感じました。基金だけため込んで持っていてもしようがありません。教育長、先生もやはり早う給食センターつくってくれと言っていますので、そういうことも必要ないかと思いません。

そういう中で、また私合併の話して申しわけないんですけども、合併を予定をしておりました新杵築市、人口は約3万5千人くらいですかね、日出町が2万8,600人くらい、約ですね。平成23年度の一般会計ベースの予算が、新杵築市が177億6千万ほどだそうです。私も日出町約90億なんですね。合併をした町とこんなに差があるのかなと。同じ住民、国民といいですか、市民、町民に使われる行政サービス予算がこれだけ違うと。さらには、やはり優位な起債というの、特例債あたりがやはり120億くらいあるというふうにたしか私記憶しております。こういうものを使い切っておるかどうかわかりませんが、新市においてはいろんな形の見えるもので住民に対して行政サービスだと言っているのか、中身ソフト的なものはどうなのか、私一々はお伺いしておりませんが、これだけの差があり、工藤町政は先ほど来、評価もされましたけれども、大変な行財政改革、職員の削減やってまいりました。事務事業も見直ししました。支所をなくしました。こういうような形でできております。このことも、私も当時かかわった議員として、常にこの状態が私、新市がいいとは思いません。借金だけ背負って今後特例債10年間過ぎてどうするんだろうかという心配、よその町のことでですから要らんことは言いませんけれども、決していいというわけじゃないですけども、やはり単独を選んだ私ども日出町が、果たしてその当時単独で想定した日出町になっているかなというのを、私も時々自問をいたします。

そこで、この日出町がどのような方向に向かうかと、どのような町にしようかと、そのためにどのようなまちづくりを考えているのか、町長申しわけないんですけども、一々の枝葉結構です。根幹の幹の考え方だけ御答弁お願いいたします。

議長（城 美津夫君） 町長、工藤義見君。

町長（工藤 義見君） 大変難しい御質問でお答えになるかわかりませんが、私は日出町というのは別府市を含めて日出町、杵築、国東、そういう県の北部、中央といいですか、そういう地域の私は中心的な町になりたい、そういうふうに思っております。その中心的な場所が陽谷城址周辺であるとか、あるいは高校跡地の中心市街地になる、あるいは佐尾地区そういうようなものであると。

一例を挙げますと、既に警察は来年の4月から日出が本署になってまいります。その来年、再

来年からは暘谷高校が農業高校も併設されるやに聞いております。そういうふうになってくれば、私は日出町は非常に、別府を含めて重要な地域になるそういうふうに思います。どのような重要な地域になるかといいますと、人がそこに住んで生活する場として中心的地域ということですから。別府市は観光だとか、商業サービスとか大変世界に優れる観光都市であります。人が住んで本当に恵まれた環境にあると言えるかどうか、それは日出町の、既に豊岡のほうは相当家が建ち込めておりますが、川崎、藤原、大神の方はまだ土地が相当空いてわけでありまして。交通の便利もいと、そういうような状況からすると決して見込みのないことではないとそういうふうに、交通の要所の地でもあります。自然の環境もいい地区、いろんなことを考えると私は十分可能性がある。そのための基地にして、将来私は何年後かまた合併論争が出てくるかもしれません。そのときは日出町は名誉ある町として、むしろ日出町になろうかとか、日出市になろうかとかそのくらいな気概を持って私は日出町のまちづくりを今こそすべきだと、そういうふうに思います。

平成の合併のときも合併するところほど地域づくりを一生懸命しなければ巻き込まれて、埋没してしまいますよと、これはもう当然言われたことでもあります。ですから、私どもはいつどういう時代、例えば人口30万人の都市とかいろんなことを言われておりますが、ここ国東、最近まで宇佐まで入れて30万程度にしかならないわけですから、今度は広域過ぎるわけでありまして、そういうふうなことをいろいろ考えても私は面積においては73、旧山香町が150ほどありますから、山香町と日出町は比べると山香のほうの方が2倍ありまして、今の杵築市は4倍近い、3.5倍くらいだろうと思います。そういう広い面積を抱えています。

したがって、交付税だとか予算規模はその面積も人口のみならず多いと思います。そしてそれも日出町は、昔から過疎地域ではありません。それから、僻地でもなければ合併もしなかったわけで、優遇のいろんな財政措置がありません。そういうことから、これはもう日出町創立以来いろんな事業に、大きい都市、過疎、僻地と言われたところからすると事業がおくれておりまして、箱物等についての整備がおくれていると思います。そういうことを考えるとまさにおくれているわけでありまして、住民の基本的な予算、そういうものが本当に遅いかといいますと、決して私は低にあるというふうに思っておりませんで、そこそこの推進があるんじゃないかと。ただ予算規模が、例えば杵築市は福祉事務所がありまして、生活保護費が全部計上されてから、いろんなその特色があるために予算規模は大きく違いますが、住民も福祉、箱物関係入れればそう大きな差がないと。私はむしろ日出のほうのすぐれている面が多々あるとそういうふうに思っておりますので、日出町の歴史文化あるいは資源、そういうものをしっかり生かして日出町らしいまちづくりを今後やっぱり続けていけば、私はそれで十分対処できるんじゃないか、そういうふうに思っております。

以上でございます。

議長（城 美津夫君） 13番、佐藤二郎君。

議員（13番 佐藤 二郎君） 町長のほうから非常にわかりやすい、幹っていいですか、考え方ですね、考え方、やっぱり日出の町がやはりこの地域の核となる中心になる町にしたいという、これ町長ぜひ絵を書きませんか。非常にやはり町民が町長の施策何だろうかと、具体的にこういうものである、ああいうものであると活字で書いたものというのは非常にわかりにくいんです。やはり将来の展望像、日出町のそういう枝葉はやはり職員は書くと思います。職員が。町長の言ったことは枝葉はですね、やはり木に例えて私はよく申し上げますけれども、やはり根や幹をしっかり立っていただければ、ぜひともそういうわかりやすい町長の施策になるんじゃないかと思います。皆さん方の住んでいただいて3万人を超えるまちづくりというのはそういうことだったのかなと、今改めて私も感じました。

それじゃあ、町長そういう皆さんが住んでいただくために、具体的な施策どういうふうにお持ちになっておりますか、4番目の質問で申し上げたいと思います。

議長（城 美津夫君） 町長、工藤義見君。

町長（工藤 義見君） これも町長に、2期になりましたときに、これからの方向ということで町の広報紙の町政だよりの中に明確に書いております。そういうことについて若干申し上げますと、自主財源を確保していくと。そのためには税収を伸ばし、定住人口をふやしていただきたい。そしてまた企業誘致等を進めて、交流の町、交流人口をどんどんふやしていこうと、そういうようなことを進めていかなきゃならんと、そういうふうに思っております。

それと、いま一つ日出町は高校跡地が非常に立派な土地を残されております。私はここに電気をこちらにお願いしたという意味は、別府市、日出町、杵築、国東の商業エリアを持ったということでもあります。日出だけにつくって、杵築、国東につくるということではありません。ここについて起点にするとこういうケースデンキの言葉をいただいておるわけです。ホテルをつくったというのは、みんなこの周辺に企業がたくさん来ております。そういう企業が来たときに商談取引が全部別府大分から来ております。私は日出から出発してほしい。こういうことからホテルを、実は9階建ての198室を確保して、小さい小さいとって大きくしていただいております。やっぱり今後この町が、特に今度は空港道路が自由通路になりましたので、国東・杵築の、国東の人たちがどんどん日出町に入っていき、そういう意味からすると私はそういうものの中核的な町を目指したいということでもあります。

それから、もちろん少子高齢化が非常に進んでおりますので、そういう意味からすると医療や教育や福祉対策もしっかりやっていかないといけない、そしてまた商工業、農業とか林業とか水産業、いろんな第一次産業の振興、そういうのの中にバランスよく日出町が発展していかなければいけない、そういうようなことがあります。おかげで10号線の拡幅が順調に進んでおります。

そういうことから、一日も早くこの10号線の拡幅を今のところ25年になりそうだということが言われておりますが、一日も早くということは今申し上げております。

それといま一つ、藤原地区の和泉北大神線が開通しました。それから、うちの地区の広大な地域が残されております。笹尾松ヶ鼻線であります。そういうような中心路線がありますから、その周辺に多く企業等あるいはもっと人口集積ができてこなければいけないそういうふうに思っておりますが、そういうような対策を行っていく、それからまた老朽化している学校等の問題があります。あるいは公共施設がありますので、そういうことについても、東日本の大震災の教訓を受けてしっかりした防災計画をつくりながら頑張っていかなきゃいかんと、その中で一番重要になってまいりますのが、やはりそれを中心的に進める職員に資質も問題であります。職員研修など通して改革を進めながら、率先して町政に取り組む職員道を確立しなきゃいけないとそういうふうに思っております。

そういうふうなことを総合的にやっぱり進めていかなきゃいけないんじゃないかとそういうふうに思っております。

以上でございます。

議長（城 美津夫君） 13番、佐藤二郎君。

議員（13番 佐藤 二郎君） 町長一番得意なあれします、これします、こんなことやりますというそういう場を私も持ったつもりでございますので、もっと具体的にたくさんあるかと思えますし、ぜひともこれまで申し上げたように行財政改革に見合う日出町の育成の幹となるような、枝となるような事業に取り組んでいただきたいなとこういうふうに思います。

それでは、最後の質問を申し上げます。今日出町が抱えている大きな課題、問題点、そして今後起こり得る課題や問題点はどういうものがあると思えますか、お伺いいたします。

議長（城 美津夫君） 町長、工藤義見君。

町長（工藤 義見君） 先ほどの答弁の中で出てきましたし、重複しますので、そこは簡潔に申し上げたいと思えます。

やはり日出町では財政をしっかり確保していく、そういうことであります。そういうことからすると、企業誘致等含めて財源の確保をしっかりやっていくということでもありますし、また当然のことながら少子あるいは高齢化の中で社会福祉関係の経費が増高してまいります。そういうことを十分念頭に置きながら、そのためにも健康づくりを精いっぱいやっていかなきゃいけない。そういうことで保健師等の採用も11名やってまいりました。こういう人たちがフル活用して、あるいはまた町の中にたくさんのそういう健康問題に取り組む団体、組織があります。そういう人たちの力をかりながらやっていかなきゃいけないと。そういう中で、いま一つ私は重要だと思うのはすぐれた資源と歴史・文化を持っている日出町であります。

したがって、この資源をやや見過ごしていると、もう少し磨きをかけて大いに評価してみずからこの なぜかという、日出町はよそにない非日常があります。きょう午前中の質問の中にありましたが、非日常という言葉は素晴らしいことである。私ども自身がまず気をつかなければ、よその人が気がついてくれたんではそういうわけで、そういう意味からするとそういうものを歴史的な文化的な遺産をしっかりと磨きをかけて訴えていくということが大切だろうと思います。

そういう中で、やはり課題になるのはお金の要る部門であります。公共施設の問題、あるいはまた先ほどありました水道の問題、あるいは広域圏のそれぞれの負担をしっかりとやっていくと、こういうような大変大きな負担を伴う事業がまた重なっておるわけでありまして。そういうようなことからすると、やっぱりこういういろんな課題をしっかりと念頭に置きながら、やっぱり財政健全化を図り、財政基盤をしっかりと築きながら、私は恵まれた資源を有効に生かしていこうと、そういうことになれば私は日出町の評価が高まる、高まれば日出町に注目が集まり、住みよければ多くの人が出日町で住もうとか、やっぱり選択される町にならなければ人は来てくれないわけでありまして。教育、文化、あるいはすべての部門で、私はそこそこの上位に位置づけるならば、また日出町のよさを皆さん認識していただき、どこかいろんなところが欠けてきますと私は選択されない、そういうふうに思いますので、やっぱり選択される町、それを私はしっかりとらみながらよその水準におくれをとらんように、これも大きな日出町の今後の考え方も一つだろう、そういうふうに思います。

十分お答えできたかどうかわかりませんが、以上でございます。

議長（城 美津夫君） 13番、佐藤二郎君。

議員（13番 佐藤 二郎君） やはり、最終的にはやはり町長就任以来、一番頭を悩ませ御努力をされてこられた財政ということだということに行き着いたんじゃないかと思います。

各課の課長さん方にもやはりそういう意味でお金がないからと一時は77の当時の区長さん方、何言ってもだめやなと今、行革入っているお金がない、お金がないからもう言ってもだめだと、こういう空気がつい最近までありました。各課長さん方皆さん経験しておるでしょう、そういうことはやはり今町長言われたように財政というのがやはりいかに大切か、いかにやはり行政運営で必要か、もうこれ私が言うことではございませんけれども、この御苦労が一番の今の日出町政の課題であるというふうに私は結論づけたいと思います。今後ともこのようなこと、十分に幹部の方々わかっておると思いますが、改めてお願い申し上げておきたいと思います。

町長におかれましては、本当に真剣に毎日自分の考え、信念に基づいて町政執行に取り組んでいただいていることを私も十分承知しております。しかし、時々思います。町長は自分の考え方であり、町民の考えていることとは少し距離がある、申しわけございません、随分距離がある、こういうことも多々見受けられます。よく町長いろんなところ行かれ、おつき合いよく夜遅くまで



おつき合いされますね。昨晚もおつき合いされたんじゃないかと思いますが、そこでお伺いしたことをすぐ次の日に、またお伺いしたら「よし一緒に行こう」町長行かれますね。非常にすばらしいことだと思いますし、これはよその首長さんにならぬ工藤町長ならではのことでないかと思いますが、ぜひとも先ほどの質問もございましたけれども、やはり専門の職員、担当の職員また地域の方々がおられます。ぐっと一つそこで町長として町長室の応接室でお待ちいただいて、担当課長さんと呼ぶとか、また地域の区長さんや関係の団体の方々にお伺いするとか、こういうようなことを町長少し私は心がけてほしいなというふうに思います。

また、私ども議会も少し意見具申、議長のほうから厳しいお話もあろうかと思いますが、少し意見をお伺いしていただくとありがたいなと思います。私ども議会、または議会議員は執行部のチェック機能でもございます。しかしながら、やはり今私ども議員が問われているのは、議員は何をしているかと、このように問われていることはやはり皆さん方の代表として、地域の代表としてやはりいろんな意見をお伺いしております。町政のあり方をチェックするだけではなくて、その町政に対しての政策提言ができるような、また私ども議員も同意を得られる議員同士で政策提言をしていくことを、改めて私きょうここで強く感じております。

どうか、今後とも町長には今後出てまいります第4次の総合計画、後期計画ですか、基本計画が提示されようかとしております。これも1年おくらせていますね。ぜひとも前担当者何しておったかなというふうに思っておりますが、やはり住んでよかった、町長の言われる住みたくなる、住む場所を選んでくれる日出町になるように真剣に改めて取り組んでもらえるように、町長に御期待を申し上げて私の質問を終えたいと思います。私のほうから一方的に終えたいと思います。

終わります。

議長（城 美津夫君） これで一般質問を終わります。

#### 散会の宣告

議長（城 美津夫君） 以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（城 美津夫君） 異議なしと認めます。したがって、本日はこれにて散会することに決定しました。

本日は、これで散会します。御苦労さまでした。

午後2時13分散会